

基本目標	I 人権が尊重される社会づくり
課題	1 男女共同参画の意識の醸成
施策の方向	①男女共同参画の意識啓発

No.	事業コード	事業名	事業内容	R5管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度						担当課
					令和5年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	令和5年度の貢献度	評価の理由	
1	1	男女共同参画社会づくりのための情報紙の発行	市民と協働により情報紙を発行し、市民の手に届くよう配布します。	【管理指標項目】 情報紙の発行回数  【目標値】 年3回  【5年度実績】 年2回	情報紙「きらきら」を市民公募の編集委員4名と編集・発行し、学校や関係機関等に配布した。今年度より、発行回数を3回から2回に減らし、1号ごとの内容を充実させ、新たな配布先に市内中学校を加えたことにより、さらに広い周知に取り組んだ。	オンラインを併用した編集会議を開催し、市民編集委員が参加しやすい環境を整えた。今年度より、発行回数を3回から2回に減らし、1号ごとの内容を充実させ、新たな配布先に市内中学校を加えたことにより、さらに広い周知に取り組んだ。	読み手の意識啓発につながる男女共同参画の特集記事を検討し作成する。 引き続き、配布先の見直しを図り、より多くの市民の手に入るよう工夫する。	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	各号とも身近にある男女共同参画をテーマに取り上げ、学校や関係機関を通じて配布し、読み手の意識啓発につなげた。 また、配布先に市内中学校を加え、より広い範囲の人に本紙が届くよう取り組んだ。	多様性社会推進課(旧:男女共同参画センター)
2	2	男女共同参画週間における講演会などの実施	毎年行われる国の男女共同参画週間に併せ、講演会などを実施します。	【管理指標項目】 男女共同参画週間に併せた講演会などの実施回数  【目標値】 年1回  【5年度実績】 年1回	男女共同参画週間にあわせた講演会を実施した。 テーマ:認め合う社会へ 私ができること! 私から変わろう!  参加者:会場30人/オンライン12人	会場参加のほかにオンラインによる視聴を取り入れ、参加しやすい環境を整えているものの、参加者の高齢化が進み、若い世代の参加が少ない現状にある。 男女共同参画意識の醸成には、若い世代が参加しやすいテーマや環境を整えていく必要がある。	令和6年6月の男女共同参画週間に向けて、運営委員会を立ち上げ、幅広い世代の人々が意識改革を図るきっかけとなる講演会の実施に向け準備を進めている。	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	毎年、講演会にてアンケートを実施し、8割以上の方が「参考になった」と回答し、男女共同参画に関して考える機会となっている。 また、令和3年度以降は、中央図書館と連携し、関連書籍の展示を行うなど、男女共同参画について広く周知を行うことができた。	多様性社会推進課(旧:男女共同参画センター)
3	3	広報紙、ホームページ等メディアの活用による啓発	男女共同参画センターで行っている事業や、男女共同参画に関する情報を、広報紙、ホームページ、ツイッター等を通じて発信します。	【管理指標項目】 男女共同参画に関する情報の広報紙、ホームページ、ツイッター等による啓発回数  【目標値】 年10回  【5年度実績】 年10回	・広報習志野「若年層の性暴力被害防止月間」 ・広報習志野、X(旧ツイッター)、LINE、テレビモニター及び市ホームページ「男女共同参画週間事業」 ・広報習志野、X(旧ツイッター)、LINE、テレビモニター及び市ホームページ「LGBT講座」 ・広報習志野、X(旧ツイッター)、LINE、テレビモニター及び市ホームページ「パラレルキャリア講座」 ・広報習志野、テレビモニター及び市ホームページ「再チャレンジ支援講座」 ・広報習志野及びX(旧ツイッター)「きらきら編集委員募集・情報紙きらきら発行」 ・広報習志野、市ホームページ「パートナーシップ・ファミリーシップ制度に係る都市間連携協定の締結」 ・広報習志野、及び市ホームページ「男女共同参画啓発講座」 ・広報習志野、X(旧ツイッター)、テレビモニター及び市ホームページ「女性に対する暴力をなくす運動」 ・広報習志野「避難所における男女共同参画」	各種講座の周知及び男女共同参画に関する情報の広報活動を実施した。男女共同参画に関して、継続的に広報を行い、広く意識の醸成に努める必要がある。	広報紙及び市ホームページに男女共同参画の情報掲載を行っていく。	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	各種講座等の周知及び男女共同参画に関する情報発信を行った。 今年度より、LINEによる講座開催のお知らせを発信したことで広く周知につながった。 講座の参加者アンケートでは、参考になったとの回答が多く得られ、男女共同参画の意識醸成につながった。	多様性社会推進課(旧:男女共同参画センター)
4	4	市職員に対する男女共同参画に関する研修の実施	新規採用職員を対象として、男女共同参画の理解を深める研修を実施し、男女共同参画の意識向上を目指します。	【管理指標項目】 市職員対象の男女共同参画に関する研修の実施回数  【目標値】 年1回以上  【5年度実績】 年1回	新規採用職員研修(後期)において、男女共同参画についての研修を実施。 (令和5年11月 受講者数:55名)	毎年、継続して実施していく必要がある。	新規採用職員研修(後期)の中で、男女共同参画に関する研修を予定している。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	研修を受講した多くの職員からは、「無意識」や「固定概念」といったことに目を向ける必要性を感じたとの意見がでており、男女共同参画の意識向上につながったと考える。	人事課

基本目標	I 人権が尊重される社会づくり
課題	1 男女共同参画の意識の醸成
施策の方向	①男女共同参画の意識啓発

No.	事業コード	事業名	事業内容	R5管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度						担当課
					令和5年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度 の貢献度	令和3年度 の貢献度	令和4年度 の貢献度	中間評価	令和5年度 の貢献度	評価の理由	
5	5	民生委員・児童委員に対する男女共同参画に関する啓発の推進	市民生活に直結している民生委員・児童委員を対象とする男女共同参画に関する啓発を推進し、研修の参加を促します。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	男女共同参画センターから配布依頼のあった講座等のチラシを配布した。	男女共同参画に係る講座や研修の案内は行っているが、参加は本人の意思に任せている。	今後も、民生委員・児童委員として、必要な知識を習得するため、研修の参加を促していく。	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	男女共同参画の講座等のチラシの配布を行い、講座(研修)の参加を促している。	健康福祉政策課(旧:社会福祉課)
6	6	男女共同参画についての庁内啓発	市職員へ庁内啓発紙を発行し、啓発を行います。	【管理指標項目】 市職員への男女共同参画に関する庁内啓発紙の発行回数 【目標値】 年2回 【5年度実績】 年2回	職員啓発紙「ピーナ通信」を発行した。 ・令和5年9月発行号「パートナーシップ・ファミリーシップ制度の都市間連携協定を締結しました。」 ・令和6年2月発行号「1月 29日(水)「性の多様性に関する啓発講座」多様な性はグラデーション～LGBTを知り、個性を認めあう社会へ～を開催しました」	職員啓発紙「ピーナ通信」にて、職員への意識啓発を実施した。 今年度より、レイアウトを変更し、コンパクトでより読みやすい記事づくりに努めた。 引き続き、タイムリーなテーマも取り上げ、男女共同参画に関する理解促進のための啓発を行う必要がある。	職員啓発紙「ピーナ通信」は次年度2回発行予定。	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	今年度より、レイアウトを変更し、より読みやすい記事づくりに努めた。テーマとして、「パートナーシップ・ファミリーシップ制度」「性の多様性」といった、市職員として知ってほしい内容を取り上げ、男女共同参画意識の醸成に努めた。	多様性社会推進課(旧:男女共同参画センター)
7	7	男女共同参画に関する講座などの開催	男女共同参画に関する講座などを開催します。	【管理指標項目】 男女共同参画に関する講座などの開催回数 【目標値】 年3回以上 【5年度実績】 年4回	令和5年6月、11月性の多様性講座 令和5年10月再チャレンジ支援講座(全5回) 令和5年9月パラレルキャリア講座 令和6年2月男女共同参画啓発講座(全2回)	令和4年4月に内閣府で決定した「女性デジタル人材育成プラン」に基づき、就労に直結するデジタルスキルの習得を目的として「女性のためのExcel基礎講座」(再チャレンジ支援講座)を開催した。定員を多く超える問合せがあったため、男女共同参画啓発講座の枠を活用して追加募集を行った。	引き続き、男女共同参画の意識啓発につながる講座を開催する。	D:事業を実施できなかった	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	各講座にて、実施したアンケートでは、参考になったと回答した参加者が多く、男女共同参画に関する啓発となった。また市ホームページで講座の報告をし、参加者以外への情報提供を図った。	多様性社会推進課(旧:男女共同参画センター)
8	8-1	事業所に対する男女共同参画に関する啓発	事業所に対して、商工会議所などの関係機関と連携し、男女共同参画に関する啓発を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	女性の起業と多様な働き方をテーマとした内容を情報紙「きらきら」第57号に掲載。商工会議所を經由し、会議所会員に配布した(2,000部)。 また、同号には再チャレンジに関する用語説明を掲載し、啓発を図った。	商工会議所を經由して、会議所会員に配布した。 会議所会員以外の事業所への啓発について引き続き検討する必要がある。	年2回発行の情報紙「きらきら」にて、事業所における男女共同参画に関する情報を掲載し、商工会議所会員への啓発に取り組む。 会議所会員以外の事業所への啓発方法について引き続き検討を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	各事業所への男女共同参画社会づくり啓発紙「きらきら」の配布により、男女共同参画の取り組みについて考えるきっかけをつくることができた。	多様性社会推進課(旧:男女共同参画センター)
8	8-2	事業所に対する男女共同参画に関する啓発	事業所に対して、商工会議所などの関係機関と連携し、男女共同参画に関する啓発を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	令和5年11月に実施した労働講演会は、商工会議所の広報協力により、多くの参加人数を集客することができ、女性活躍推進法に基づく認定制度に関するリーフレット(男女共同参画センター作成)を配架し、啓発に努めた。 また、同様のリーフレットを窓口にも配架し周知に努めた。	特になし	引き続き、事業者が参加するイベント等の機会を活用し、周知に取り組む。 窓口への配架は引き続き継続する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	男女共同参画センターと協力することで、昨年度よりも周知の機会を増やすことができた。	産業振興課

基本目標	I 人権が尊重される社会づくり
課題	1 男女共同参画の意識の醸成
施策の方向	②男女共同参画に関する情報収集と調査研究

No.	事業コード	事業名	事業内容	R5管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度						担当課
					令和5年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度 の貢献度	令和3年度 の貢献度	令和4年度 の貢献度	中間評価	令和5年度 の貢献度	評価の理由	
9	9	男女共同参画関係図書および情報の収集と提供	男女共同参画に関する図書および資料を整備し、提供します。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	・貸出人数7人(13冊) ・閲覧者数5人 ・各種啓発講座にて、関連図書を展示し、情報提供を行った。 ・情報紙「きらきら」でおすすめ図書を紹介するコーナーを設けた。	施設内での図書閲覧を再開するほか、中央図書館の協力により、ブックポスト経由での返却ができるなど、利用者の利便性向上に努めた。また、ちば電子申請サービスを活用した事前予約制による貸出としている。 引き続き、利用しやすい方法を検討する必要がある。	各種啓発講座での展示や、情報紙「きらきら」の記事を掲載することで、図書貸出につながった事例もあることから、継続して図書の紹介を行う。	D:事業を実施できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	施設内での図書閲覧を再開するほか、中央図書館の協力により、ブックポスト経由での返却ができるなど、利用者の利便性向上に努めた。また、各種啓発講座での図書展示及び情報紙「きらきら」にておすすめ図書掲載により男女共同参画に関する情報提供を図った。	多様性社会推進課(旧:男女共同参画センター)
10	10	男女共同参画に関する意識調査の実施	次期基本計画策定の資料とするため、市民、事業所及び市職員の男女共同参画に関する意識調査を実施します。	【管理指標項目】 市民、事業所および市職員の男女共同参画に関する意識調査の実施回数 【目標値】 現計画中に1回 【5年度実績】 実施なし	令和5年度は調査の実施なし。 (令和6年度実施予定)	令和5年度は調査の実施なし。 (令和6年度実施予定)	令和5年度は調査の実施なし。 (令和6年度実施予定)	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	該当期間は調査の実施なし。(令和6年度実施予定)	多様性社会推進課(旧:男女共同参画センター)

基本目標	I 人権が尊重される社会づくり
課題	1 男女共同参画の意識の醸成
施策の方向	③国際交流を通じた男女平等意識への理解の促進

No.	事業コード	事業名	事業内容	R5管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度						担当課
					令和5年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度 の貢献度	令和3年度 の貢献度	令和4年度 の貢献度	中間評価	令和5年度 の貢献度	評価の理由	
11	11	社会的性別（ジェンダー）の視点をもち、国際交流の促進および国際理解に向けた情報の収集と提供	姉妹都市との交流を中心に、男女問わず、社会的性別（ジェンダー）の視点をもちた市民の国際感覚の醸成を促します。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	市国際交流協会に対し、補助金交付及び市庁舎分室の会議室の提供を行い、協会の活動を支援した。また、令和6年度実施のタスカルーサ市からの青少年訪問団受入について、市国際交流協会及びタスカルーサ市担当と連携し、受入行程（案）を作成した。協会では、青少年訪問団派遣事業における団員の募集を市内高校及び在住者へ呼びかけ、男女含め16名の応募があった。その他、タスカルーサ市桜まつりへの参加・協力を行い、俳句コンテスト及び絵画コンテストに市内各小・中・高等学校生徒及び成人から数多くの応募があり、国際感覚の醸成を促した。	令和6年度に実施する青少年交流事業は6年ぶりの再開となる。市職員のみならず、タスカルーサ市からの青少年訪問団を受け入れる各高校においても事業経験者がほほいらない状況について、平成30年度実施の内容を参考に、市国際交流協会ははじめ関係団体と情報を共有し、有意義な交流となるよう計画・調整を進める必要がある。	(受入予定) 5月28日～6月10日 (派遣予定) 7月20日～8月2日  引き続き市国際交流協会、タスカルーサ市担当及び市内学校と連携する。 受入時の市長等との対面やフェアウェルパーティーの実施に向け、市国際交流協会と協力しながら準備を進める。	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	A:貢献できた	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	令和6年度の青少年交流事業の実施に向けて関係団体と連携し、計画することができた。	協働政策課

基本目標	I 人権が尊重される社会づくり
課題	2 男女平等教育・学習の推進
施策の方向	①就学前における男女平等教育の推進

No.	事業コード	事業名	事業内容	R5管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度						担当課
					令和5年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度 の貢献度	令和3年度 の貢献度	令和4年度 の貢献度	中間評価	令和5年度 の貢献度	評価の理由	
12	12	保育所・幼稚園・こども園における男女平等の保育・教育の推進	乳幼児の保育や指導において、男女平等の視点に配慮したカリキュラムを行っているかを点検し、必要に応じて見直しを行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	各施設において見直しと修正を図ったカリキュラムを基に、職員の意識向上に年間を通して努めてきた。また、職員会議や朝礼等において、事例を通して職員一人ひとりが言動を意識できるようにした。	日々の保育の中で、性別による決めつけを無意識にしないよう、子ども自身が選択できる機会や設定等、配慮や準備ができるようになることが課題である。	カリキュラムの見直しを実施しながら、性別による決めつけをせず、子ども一人一人の思いを尊重した保育ができるように、職員が自分の言動や保育内容等について、打ち合わせや会議の場で取り上げ、より意識を高めていけるようにする。	A: 貢献できた	A: 貢献できた	A: 貢献できた	A: 貢献できた	A: 貢献できた	職員会議や朝礼等の場を利用し、職員が意識できるように事例や対応について伝えてきたことで、自分の言動を振り返り、意識して子どもと関わろうとする姿につながってきた。	こども保育課
13	13	保育・幼児教育関係者の男女平等教育に関する内容を盛り込んだ研修の実施	保育所・幼稚園・こども園職員に対して、男女平等教育に関する内容を盛り込んだ研修を実施します。	【管理指標項目】 男女平等教育に関する内容を盛り込んだ研修の実施回数 【目標値】 年3回 【5年度実績】 年3回	各施設での年間計画に基づき、人権研修を行った。男女平等を意識できるようにチェックリストを利用して、職員自身で自分の言動を振り返った。	チェックリストを利用することで、自分の言動を振り返り、意識しようとするにつなげたが、意識の持続や常に意識することの難しさがあるため、定期的な研修や所属長との面談等の実施をしていく必要がある。	チェックリストの利用や具体例を用いた自分の言動の振り返りを、定期的に行い、職員自らが意識を高めていけるようにする。また、定期的な所属長との面談を行うことで、自分だけでなく、職員全体で意識し合えるようにする。	A: 貢献できた	A: 貢献できた	A: 貢献できた	A: 貢献できた	A: 貢献できた	チェックリストの利用により、職員一人一人が自分の言動を振り返り、自分の反省点を見つけ意識しようとするようになった。	こども保育課

基本目標	I 人権が尊重される社会づくり
課題	2 男女平等教育・学習の推進
施策の方向	②学校における男女平等教育の推進

No.	事業コード	事業名	事業内容	R5管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度						担当課
					令和5年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度 の貢献度	令和3年度 の貢献度	令和4年度 の貢献度	中間評価	令和5年度 の貢献度	評価の理由	
14	14	男女平等の視点を盛り込んだ人権尊重教育の推進	人権尊重教育の一環として、男女平等について学ぶ授業などを行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	・教育課程全体を通して、多様な性が認められ、誰もが社会に参画できることを学習している。 ・中学3年生の社会科公民的分野で、基本的人権において男女平等や多様な性について学習した。	授業で学習したことが、学校生活の中でどのように反映されているか見づらい。	教育課程全体を通して、SDGsの視点や多様な性を認めていく意識を醸成できるよう引き続き取り組んでいく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	学習活動全体だけでなく、教育活動全体を通して、男女平等や多様な性を認めていき、児童生徒の意識を醸成している。	指導課
15	15	男女平等の視点に立った教育相談、適応指導教室の実施	教育相談、適応指導教室においては、男女平等の視点に配慮し、個に応じた相談、指導を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	児童生徒、保護者に対し、男女平等の視点を持ち、人権にも配慮して教育相談、適応指導教室の運営を行った。	人権教育を日頃から意識して取り組んでいる。また、現代的な課題(発達障がい、LGBTQ等)に対して、研修会等に参加してきた。発達障がいへの理解についてはさらに深めていかなければならない。	人権教育を念頭に置き、教育相談、適応指導教室の運営を実施する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	児童生徒との活動や保護者との相談の際には、児童生徒の発達や特性、多様性を念頭に、実際の指導や活動を行うことができた。	総合教育センター
16	16	男女平等の視点に立った進路指導の実施	進路指導を行う上で、生徒や保護者に対し、男女平等の視点に配慮し、個に応じた指導を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	・東邦大学と連携して、女子中学生の理系進路選択支援プログラムを取り組み、生徒向けの講座や保護者向けの講座を実施し、進路と将来を考える機会を設けた。 ・各中学校にて進路説明会(保護者向け・生徒向け)を年間2回以上実施した。 ・3者面談(生徒・保護者・教員)、2者面談(生徒・教員)を通じて、個に応じた進路指導を実践した。 ・進路指導主任会議を年5回実施し、情報共有を図る中で、各校が個に応じた指導に取り組んだ。	・東邦大学と連携したプログラムでは生徒向けの講座で学校との日程調整、保護者向けの講座で情報発信と応募方法等の課題が上がった。 ・入試の実施形態等の多様化(インターネット出願やマークシート式学力検査等)が進む中、早期に情報を入手し、個に応じた指導につなげる必要がある。	・東邦大学と連携を継続して、生徒向けの講座や保護者向けの講座を実施するとともに、令和6年度は理科の教員向けの講座も取り組み、理系進路選択支援を推進していく。 ・令和6年度は全ての千葉県 の公立高校において、インターネット出願が実施されるため、実施形態を早期に確認し、市内で情報を共有して生徒や保護者に伝えていく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	・東邦大学と連携したプログラムによって、女子中学生への理系進路選択支援につながった。	指導課
17	17	男女平等の視点に立った職場体験学習の実施	職場体験学習を行う上で、男女平等の視点に配慮し、個に応じた職場体験学習に取り組めるようにします。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	職場見学、職場体験では、オンラインや講話を通して男女の分け隔てなく、個々の興味・関心に応じて行った。	男女平等の視点に配慮し、興味関心を活かした学びの場をより広げていく必要がある。	感染症拡大防止の観点から、実際の体験や見学が難しい場合においても、男女平等の視点に配慮し、ICTの活用や講話を取り入れて実施する。	D:事業を実施できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	男女平等に職場体験を行ったり、職業講話を受けたりしている。	指導課
18	18-1	校務分掌などにおける固定的性別役割分担の解消	性別にとらわれず、適材適所、能力開発の視点により教員の職務分担(校務分掌)を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	各学校において、校長が学校教育目標の実現に向け、性別や固定観念にとらわれず、適材適所の校務分担を行った。	初若年層が多く、職員の職務経験が少なく、人材育成が喫緊の課題である。	性別を問わず、学校教育目標の達成に向け、適材適所、そして学校が持続可能な組織となるための校務分掌とする。	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	性別にとらわれることなく、各職員の特性、今後のキャリア形成などを考慮した校務分掌がなされている。	指導課
18	18-2	校務分掌などにおける固定的性別役割分担の解消	性別にとらわれず、適材適所、能力開発の視点により教員の職務分担(校務分掌)を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	・管理職員の資質能力を生かした管理職配置を行った。 ・職員の経験や個性を生かし、チーム学校を推進する体制づくりを行った。男性女性のバランスに偏りがないよう配慮した。	男女の役割によって分担される事例は解消されている。校内のリーダー的役割の分掌に、女性の配置を一層多くすることが課題である。男女ともに資質向上が必要である。	・女性のリーダー育成に向けた啓発を各学校へ働きかける。 ・ICT活用の促進により分担されている業務の効率化を進める。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	男女の役割によって分担される事例はかなり解消されている。校内のリーダー的役割の分掌について女性の割合を高める必要がある。更に男女とも教員の資質向上が必要であるが、女性が校内で重要な役割を果たしている学校が確実に増加している。	学務課(旧:学校教育課)
19	19	教職員の男女共同参画に関する研修への参加促進	県で主催する男女共同参画に関する研修への参加を促進します。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	教職員が、LGBTの理解促進も含めた、男女共同参画に関する研修に参加した。	研修の時間を確保し、継続的に意識付けをしていく必要がある。	引き続き、教職員に対して男女共同参画に関する研修への参加を呼び掛ける。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	男女共同参画に関する研修を紹介し、参加を促し、県の人権教育資料等をおして啓発を図っている。	総合教育センター(旧:指導課)
20	20-1	キャリア教育の推進	男女ともに個性と能力に応じ、キャリア発達することによって社会的責任を果たし、自らの可能性を高めていく能力を育みます。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	特別活動を要とし、日常の学習や生活をとおして、児童生徒が男女の分け隔てなく関わり、個々の個性と能力を高める学習活動を行った。	特別活動を要としながらも学校教育全体を通してよりキャリア教育を推進していく必要がある。	各学年の発達段階を考慮し、取り組む内容を精選し、男女の分け隔てなく取り組んでいく。行事や教科等と関連させながら、学習活動を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	特別活動を要とし、学校生活において男女の分け隔てない学習活動が行われている。	指導課

基本目標	I 人権が尊重される社会づくり
課題	2 男女平等教育・学習の推進
施策の方向	②学校における男女平等教育の推進

No.	事業コード	事業名	事業内容	R5管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度						担当課
					令和5年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	令和5年度の貢献度	評価の理由	
20	20-2	キャリア教育の推進	男女ともに個性と能力に応じ、キャリア発達することによって社会的責任を果たし、自らの可能性を高めていく能力を育みます。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	日常の学校生活において、生徒自身が社会的責任及び能力を養っている。また、学校教育や生徒指導の観点からみても、日々男女分け隔てなく教育指導を行っている。	日々の学校教育において授業・部活動だけではなく、男女ともに分け隔てなく参加できる文化祭・体育祭・予餞会など、生徒自身が考え行動できるよう、社会的責任及び能力を養える教育環境を整備している。	学校行事に興味を持ってもらえるような企画を検討していく。	A: 貢献できた	A: 貢献できた	A: 貢献できた	A: 貢献できた	A: 貢献できた	男女が共に活躍できるように学校行事を企画している。	習志野高校 (学務課(旧: 学校教育課))

基本目標	I 人権が尊重される社会づくり
課題	2 男女平等教育・学習の推進
施策の方向	③家庭、地域における男女平等教育・学習の推進

No.	事業コード	事業名	事業内容	R5管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度						担当課
					令和5年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の 貢献度	令和3年度の 貢献度	令和4年度の 貢献度	中間評価	令和5年度の 貢献度	評価の理由	
21	21	男女共同参画に関する講座などの開催や情報の提供	男女共同参画に関する講座などの開催や情報提供を行います。	【管理指標項目】 男女共同参画に関連する講座の実施回数  【目標値】 各公民館で年1回以上 【5年度実績】 各公民館1回以上 全公民館延べ91回 実施うち男性参加41回	・全公民館の幼児家庭教育学級において、父親の参加を促すため、参加しやすい土曜・日曜に1回講座を実施した。 ・土曜・日曜に親子で参加する講座を実施し、父親の参加を促した。 (参考) 幼児家庭教育学級、育児講座、親と子のふれあい講座、子ども講座、健康いきいき講座、親子でレジン、2歳児親子サロン、1歳児親子ルーム、いきいき講座、大学交流講座	・父母ともに参加を促すため、参加しやすい日程を設定しているところだが、父親の参加が少ない。 ・男性の参加しやすいような内容の工夫をした。 ・夫婦・家族・男女共同で子育てについて、男女共同参画の学習を推進する内容の取り組みが課題である	・引き続き、父母ともに参加を促すため、家庭教育や親子での講座を土曜・日曜に開催する。 ・父親が参加しやすいような内容や周知方法(チラシ配付や広報活動)を検討する。	A: 貢献できた	A: 貢献できた	A: 貢献できた	A: 貢献できた	A: 貢献できた	・充実した講座を実施できた。 ・父親の参加は少なかったものの、どの講座においても親子で楽しく、男女仲よく取り組むことができた。	公民館
22	22	男女平等の視点に立った幼児・PTA家庭教育学級の実施	幼児家庭教育学級およびPTA家庭教育学級の実施について、男女平等や男女共同参画の視点に配慮し、日程や内容などの検討を行います。	【管理指標項目】  【目標値】  【5年度実績】	・全公民館の幼児家庭教育学級において、父親の参加を促すため、参加しやすい土曜・日曜に1回講座を実施した。 (参考) ・幼児家庭教育学級 全11回 ・PTA家庭教育学級開設学級数 全24学級	・幼児家庭教育学級では、3歳児をもつ親を対象にした事業で、この時期に男女平等をどのように取り入れるかが課題である。 ・募集定員に達するよう周知し、参加を呼び掛ける。 ・PTA家庭教育学級は、家庭教育の重要性を段階的にどう伝え、結び付けていくかが課題。	・学習プログラムの回数が増えるように促していく。 ・やってみたいと思うPTA家庭教育学級の開催内容を具体的に学校側に提案し、開催にこぎつけるようにする。 ・公民館周辺の幼保こども園にチラシを配付し、夫婦での参加を呼びかけていく。 ・男性も参加しやすい曜日の開催を各学級に提案していく。	A: 貢献できた	A: 貢献できた	A: 貢献できた	A: 貢献できた	A: 貢献できた	・母親の健康状態や精神状態にに応じて無理なく参加できるようにしたため、安心して受講することができた。 ・育児について相談できるネットワークが構築され、友人ができたと喜ばれることが多かった。 ・PTA家庭教育学級の合同講演会の開催は、子どもと大人が共に成長していくために今何が必要か考える、よい契機となった。	公民館
23	23	誰もが参加しやすい講座づくり	講座の実施について、誰もが参加できるよう日時・場所・保育などに配慮します。	【管理指標項目】  【目標値】  【5年度実績】	・家庭教育や成人対象の講座において、働いている人が参加できるように、土曜・日曜に講座を実施した。 ・子育て中の人に参加しやすいように保育付きの講座を実施した。 (参考) 幼児家庭教育学級、親子チャレンジ、親子でレジン、PTA家庭教育学級、大人の学び講座、悠々クッキング、新習クッキング	・男女ともに参加しやすい日程や内容となる講座づくりが必要である。 ・アンケートなどを参考に、地域の歴史、身近なこと、何を希望しているかを把握し講座を企画することが重要な課題である。 ・幼児家庭教育学級は保育用の部屋と親が講座を受ける部屋を確保した。	・保育付きの講座は、参加者に好評であり今後とも継続したい。 ・誰もが参加しやすいように、地域の課題を調査研究した講座づくりをしていくことが課題である。 ・土日開催でも、親子で集まりやすい時期の検討が必要である。	A: 貢献できた	A: 貢献できた	A: 貢献できた	A: 貢献できた	A: 貢献できた	・父親の参加は少なかったものの、どの講座においても参加者が多く、親子で楽しく、男女仲よく取り組むことができた。 ・幼児家庭教育学級・PTA家庭教育学級において、小さなお子さんがいても参加しやすい環境を整えた。	公民館



基本目標	I 人権が尊重される社会づくり
課題	3 性の多様性の理解促進と差別・人権侵害のない環境の醸成
施策の方向	①多様な性を尊重する意識啓発

No.	事業コード	事業名	事業内容	R5管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度						担当課
					令和5年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度 の貢献度	令和3年度 の貢献度	令和4年度 の貢献度	中間評価	令和5年度 の貢献度	評価の理由	
24	24	性の多様性に関する理解促進	性の多様性に関する正しい理解を促進するための啓発活動を行います。また、パートナーシップ制度について調査、研究を行います。	【管理指標項目】 性の多様性に関する啓発の回数  【目標値】 年2回  【5年度実績】 年6回	①令和5年7月11日に、パートナーシップ・ファミリーシップ制度に取り組む近隣5市と都市間連携協定を締結し、転出入に係る手続きの簡素化を図った。 ②都市間連携協定について、広報紙・市ホームページ・情報紙「きらきら」・職員啓発紙に掲載し、制度周知を図った。 ③令和6年2月にパートナーシップ・ファミリーシップ制度の運用にあたり、各自治体との連携を図るため、担当者協議会を立ちあげた。 ④令和5年6月及び11月に性の多様性講座を開催した(参加者37人)。 ⑤小冊子「セクシュアルマイノリティと人権」を購入し、講座参加者の他、民生児童委員に配布した。 ⑥令和5年10月に放課後児童支援員研修にて「性的指向及び性自認・性別違和に関する対応指針」に関して説明した。	習志野市パートナーシップ・ファミリーシップ制度の円滑な運営及び制度周知と並行して、引き続き性の多様性に関する啓発を行う必要がある。	性の多様性に関する啓発は、継続的な取り組みが必要であることから、当事者団体に協力を依頼しながら2回開催予定。 令和6年2月に立ち上げたパートナーシップ・ファミリーシップ制度に係る担当者協議会を活用し、効果的な運営及び周知啓発に取り組む。	S:大いに貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	令和4年6月1日に施行した習志野市パートナーシップ・ファミリーシップ制度については、令和6年3月31日時点で9件の宣言を受領した。また、転出入に係る手続きの簡素化を図るために締結した都市間連携協定では、実際の協定を活用して本市に転入してきた事例があることから、人権が尊重される社会づくりに貢献できた。また、令和5年6月及び11月に開催した性の多様性講座については、男女共同参画推進団体の研修会として推進団体が参加するほか、教育実習生が参加し、広い世代に対して啓発することができた。	多様性社会推進課(旧:男女共同参画センター)
25	25	【新規】公的証明書などにおける性別欄の廃止などの周知	市が所管・使用する書類について法的義務付けや事務の性質上必要であるものを除き、性別欄を廃止することおよびアンケート等で性別欄が必要な場合は、男女以外の選択肢の設定をすることについて庁内への周知を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	前回調査で公的書類性別欄の廃止について「廃止可」となっているものの継続使用されているものや「検討中」と回答していたものに対し、各課に追跡調査を実施した。	公的証明書及びアンケート等の作成時の性別欄の掲載方法について、引き続き啓発を行う必要がある。	多様な性の理解促進のため、追跡調査を実施し、引き続き不要な性別欄削除と啓発に努める。	A:貢献できた	D:事業を実施できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	平成30年6月に実施した基礎調査をもとに、令和2年5月、令和4年10月及び令和5年10月に追跡調査を実施。69件(全体の15.4%)の書類から性別欄が廃止された。また、調査を通じて、各課の多様な性への理解促進につながった。	多様性社会推進課(旧:男女共同参画センター)
26	26-1	【新規】学校における性の多様性に関する理解促進	人権教育の中で、性の多様性に関する内容を取り入れ、児童・生徒への理解を促進します。また、必要がない場合は性別による区分をしないよう配慮します。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	県が主催する性の多様性に関する研修への教職員の参加を促した。また、市の研修において小中学校各2名以上を対象とした性の多様性に関する研修を実施した。	より多くの教職員が研修に参加できる環境を整えていく必要がある。	性の多様性に関する研修への参加を促進する。教職経験2～3年目の教職員に対して、LGBTQに関する研修を位置づけ理解を深めていく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	教職員の研修が継続してできていることや各学校において、制服の選択制や男女共修の体育の実施等、児童生徒の生活環境を改善する具体的な取組が行えている。	指導課
26	26-2	【新規】学校における性の多様性に関する理解促進	人権教育の中で、性の多様性に関する内容を取り入れ、児童・生徒への理解を促進します。また、必要がない場合は性別による区分をしないよう配慮します。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	外部講師(助産師等)を招いた「生と性の健康講座」「思春期保険講演会」を通じて、LGBTQについての理解促進を図っている。	講演会が全学年実施ではない(一部の学年対象)のため、全児童生徒の理解が深まるところまでいっていない(全校実施が難しい。)	教師への資料配布により、教師の理解を深め、学年に応じた指導を推進する。	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	講演会が全学年実施ではない(一部の学年対象)のため、全児童生徒の理解が深まるところまでいっていない(全校実施が難しい。)	保健体育安全課(旧:学校教育課)
27	27	【新規】市職員に対する性の多様性に関する研修などの実施	新規採用職員研修において、性の多様性に関する内容を盛り込み、性の多様性に関する理解を促進します。	【管理指標項目】 市職員に対する性の多様性に関する研修の実施回数  【目標値】 年1回  【5年度実績】 年1回	新規採用職員研修(後期)において、性の多様性に関する理解を深める研修を実施。(令和5年11月,受講者数:55名)	毎年、継続して実施していく必要がある。	新規採用職員研修(後期)の中で、性の多様性に関する内容についての研修を予定している。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	研修を受講した職員は、「パートナーシップ・ファミリーシップ制度」や「多様性」といった言葉を印象に残ったキーワードにあげるなど、研修を通じて人権を尊重することの大切さを学んだ。	人事課
28	28-1	【新規】教職員の性の多様性に関する研修などへの参加促進	県が主催する性の多様性に関する研修などへの教職員の参加を促進します。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	教職員が、LGBTの理解促進に関する研修に参加した。	研修の時間を確保し、継続的に意識付けをしていく必要がある。	引き続き、教職員に対して性の多様性に関する研修への参加を呼び掛ける。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	LGBTへの理解が促進されるよう研修の紹介を行い、参加を周知した。	総合教育センター(旧:指導課)

基本目標	I 人権が尊重される社会づくり
課題	3 性の多様性の理解促進と差別・人権侵害のない環境の醸成
施策の方向	①多様な性を尊重する意識啓発

No.	事業コード	事業名	事業内容	R5管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度						担当課
					令和5年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の 貢献度	令和3年度の 貢献度	令和4年度の 貢献度	中間評価	令和5年度の 貢献度	評価の理由	
28	28-2	【新規】 教職員の性の多様性に関する研修などへの参加促進	県が主催する性の多様性に関する研修などへの教職員の参加を促進します。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	県が主催する「性教育研修会」の参加を促した。	Web形式だったため、受講者が受けやすい場所での受講が可能であった。反面、受講期間が過ぎると視聴できないため、受講期間を失念していて受講できなかった職員がいた。	来年度もWeb形式だった場合は、受講期間のリマインドを行い、申し込み者が全員受講できるように努める。	D:事業を実施できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	本年度もWeb研修だったため、受講者が受けやすい日に受講することができた。また、受講期間にリマインドを行い、全員受講できるように努めた。	総合教育センター(旧:学校教育課)

基本目標	I 人権が尊重される社会づくり
課題	3 性の多様性の理解促進と差別・人権侵害のない環境の醸成
施策の方向	②人権侵害のない環境に向けた啓発

No.	事業コード	事業名	事業内容	R5管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度						担当課
					令和5年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度 の貢献度	令和3年度 の貢献度	令和4年度 の貢献度	中間評価	令和5年度 の貢献度	評価の理由	
29	29	人権尊重についての広報と啓発	人権啓発のパンフレット等の配布や広報紙により人権強化週間などの周知を行います。また、人権擁護委員の人権啓発活動をサポートします。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	広報習志野へ人権週間及び人権相談案内の掲載、人権啓発冊子・ポスターを各公共施設に配布したほか、人権擁護委員が行う人権教室、各種コンテスト、イベントにおける啓発活動等の支援を行った。	人権教室については、実施時期が3学期に集中しており、人権擁護委員の負担が大きくなっている。今後は、年度当初の周知を拡大し、実施時期の平準化を図ることが必要である。	法務省等各関係機関の作成するパンフレット、ポスターを活用した啓発活動を実施する。 また、人権擁護委員が主体となつて行う、人権教室や標語、作文、ポスター原画の各コンテスト実施に係る支援を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	法務省等各関係機関が作成するパンフレット、ポスターを活用した啓発のほか、人権擁護委員が主体となつて行う人権教室や標語、作文、ポスター原画の各コンテストを実施し、人権に対する意識の醸成を図った。	多様性社会推進課(旧:社会福祉課)
30	30	【女性活躍】 ハラスメントの防止に向けた啓発	セクシュアル・ハラスメント、妊娠・出産・育児休業などに関するハラスメント、パワー・ハラスメントに関する認識を深め、被害防止に向けた啓発を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	情報紙「きらきら」第56号にて、男性の育児休暇と家事参画について取り上げ、妊娠・出産・育児休業に関する理解を深める内容とした。	テーマにあわせて、啓発の対象や手法を変えて継続的に取り組む必要がある。	引き続き啓発方法や啓発機会の検討を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	育児休暇と家事参画について取り上げ、市内幼稚園、保育園、小学校、中学校へ配布し、幼児・児童等を通じて、広く周知を行った。	多様性社会推進課(旧:男女共同参画センター)
31	31-1	【女性活躍】 働く場におけるハラスメントの防止に向けた啓発	商工会議所などと連携・協力し、誰もが働きやすい雇用環境を確保するため、セクシュアル・ハラスメント、妊娠・出産・育児休業などに関するハラスメント、パワー・ハラスメントの防止対策の周知に努めます。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	商工会議所等との連携によるハラスメント防止の取り組みは実施できなかった。	打ち合わせの機会を持つことができなかった。	商工会議所との連携した啓発に向け、協議を進めていく。	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	商工会議所等との連携によるハラスメント防止の取り組みは市の働きかけができなかったことから、実施できなかった。商工会議所等と連携した取り組みの実施に向け、協議を進めていく。	多様性社会推進課(旧:男女共同参画センター)
31	31-2	【女性活躍】 働く場におけるハラスメントの防止に向けた啓発	商工会議所などと連携・協力し、誰もが働きやすい雇用環境を確保するため、セクシュアル・ハラスメント、妊娠・出産・育児休業などに関するハラスメント、パワー・ハラスメントの防止対策の周知に努めます。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	個々の労働者と使用者の間で生じた、パワハラ、セクハラなどの労働関係のトラブルを解決する窓口を、広報習志野や市ホームページにて周知した。 男女共同参画センターの依頼を受け、DVに関する総合相談窓口が記載されたチラシとカードを窓口にて配架し、周知に努めた。	特になし	引き続き、市ホームページや広報紙等を活用しながら、制度周知に努める。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	広報習志野や市ホームページにて広く市民に周知が行えた。 男女共同参画センターと協力して、窓口にて周知が行えた。	産業振興課
31	31-3	【女性活躍】 働く場におけるハラスメントの防止に向けた啓発	市職員や教育関係者に対し、セクシュアル・ハラスメント、妊娠・出産・育児休業などに関するハラスメント、パワー・ハラスメントの防止に向けた研修や、被害者の支援などを実施します。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	・学校において不祥事根絶研修を実施した。 ・校長会議にて、わいせつ・セクハラ及び児童生徒への性暴力等への対応やパワハラについての取組み等の説明を実施した。	セクハラをはじめとしたハラスメントの防止や不祥事の根絶に向けて、当事者意識、切実感をもつことができるよう、継続的に研修を実施する必要がある。	管理職や臨時的任用職員、会計年度任用職員等に対する研修を実施し、ハラスメント防止に向けた研修の充実を図る。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	教育委員会としてのパワハラ・セクハラについての対応を定め、校長会議等で説明するとともに、各学校での不祥事根絶研修に教育委員会職員を派遣し、各種ハラスメントの防止についての研修を実施することができた。	学務課(旧:学校教育課)
31	31-4	【女性活躍】 働く場におけるハラスメントの防止に向けた啓発	市職員や教育関係者に対し、セクシュアル・ハラスメント、妊娠・出産・育児休業などに関するハラスメント、パワー・ハラスメントの防止に向けた研修や、被害者の支援などを実施します。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	・労務管理研修(5級昇格者)やリスクマネジメント研修(6級管理職)を実施し、ハラスメントにおける、管理・監督者としての役割を学んだ。 (【労務管理研修】令和5年12月15日、受講者数:25名) (【リスクマネジメント研修】:令和5年10月30日:35名)	ハラスメントについては、全職員が正しい理解と防止するための方策を学ぶ必要がある。	全ての階層別研修において、ハラスメント防止に関する内容を盛り込む。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	管理・監督者に対する研修に加えて、2・3・4級昇格者を対象とした研修においても、同僚、後輩、部下との関わり方について学ぶなど、ハラスメント防止に向けた取組を実施した。	人事課
32	32	性の商品化を防ぐための啓発	性の商品化を防ぐため、有害ビラや看板の撤去などを行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	環境浄化のために、自主パトロールや補導委員とのパトロールを実施した。	有害ビラや看板を見かけることはなくなったが、落書きなどが散見されるので、性の商品化につながるような落書きを含め、発見時にはすぐに報告する。	引き続き環境浄化のための自主パトロールや、補導委員とのパトロールを実施し、変化に気が付くような取り組みをする。	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	有害ビラ等はなかったが、日常の補導活動において、環境浄化活動を継続的に行った。	青少年センター

基本目標	I 人権が尊重される社会づくり
課題	4 配偶者・パートナーの間に生じる暴力(DV)の防止と対応
施策の方向	①DV防止のための広報・啓発

No.	事業コード	事業名	事業内容	R5管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度						担当課
					令和5年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度 の貢献度	令和3年度 の貢献度	令和4年度 の貢献度	中間評価	令和5年度 の貢献度	評価の理由	
33	33	DVに関する啓発	啓発パンフレットの配布や広報紙、ホームページ等によりDVは人権侵害であることや「女性に対する暴力をなくす運動」の周知について広報、啓発を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	・広報習志野4月1日号「若年層の性暴力被害予防月間」 ・広報習志野11月1日号「女性に対する暴力をなくす運動」 ・「女性に対する暴力をなくす運動」は11月にテレビモニターによる放映、市庁舎階段をパープルリボンで装飾するほか、市庁舎のライトアップ、男女共同参画推進団体によるDVに関する掲示を行った。 ・国が作成したDVカードを市庁舎女子トイレに設置及び各課にチラシを配布した。	リモートワークの推進やステイホームにより、DVのリスクが高くなることを想定し、DVに関する啓発及び情報提供・相談窓口の啓発に努める必要がある。 今後より多くの市民に情報提供できるよう掲示等の工夫を検討する必要がある。	11月の「女性に対する暴力をなくす運動」の広報紙掲載及びテレビモニター掲載を予定している。 11月は児童虐待防止推進月間であることから子育て支援課と連携し、オレンジリボン運動とDV防止のパープルリボン運動をあわせて、庁舎内の装飾による啓発を計画する。	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	リモートワークの推進やステイホームにより、DVのリスクが高くなることを想定し、情報提供や相談窓口の周知のため、ステッカー、広報紙、市ホームページ、ツイッターなど多様な方法で啓発に取り組んだ。	多様性社会推進課(旧:男女共同参画センター)
34	34	児童虐待防止への啓発	ポスターやパンフレットの配布、研修などにより、児童虐待防止の啓発を行います。	【管理指標項目】 児童虐待防止への啓発回数 【目標値】 年1回以上 【5年度実績】 年5回	児童虐待防止の啓発活動 ①イオン津田沼にて啓発活動 ②広報誌掲載 ③テレビ広報動画配信 ④市庁舎内パネル展示 ⑤ならしのこどもを守る地域ネットワーク主催研修会	特になし	引き続き、児童虐待防止の啓発活動として、ポスターやパンフレットの配布、研修会の開催を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	11月の児童虐待防止推進月間を中心に庁内外で啓発活動を行うことができた。	子育て支援課
35	35	児童・生徒の発達段階に沿った人権尊重の視点からの性教育の推進	児童・生徒の発達段階に応じた、男女の成長の違いや生命誕生の仕組みを学習し、児童・生徒が男女対等の立場で、互いの人権を尊重し合う教育を実施します。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	心身の健康の保持増進に関する教育を教科等を横断して行う中で、性に関する正しい知識や多様性について学習している。	多様な性に関する理解をしっかりと行う必要がある。	個人差や性別差があることを授業や講演を通して理解する中で男女が互いを認め合うことや適切な行動等について理解し、男女が互いを認め合うことができるようにする。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	発達段階に応じた性に関して個人差や性別差があることを学習しており、男女が互いを尊重する態度を育てることに取り組んでいる。	指導課
36	36-1	【新規】デートDVに関する啓発	デートDVに関する広報、啓発を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	・令和5年7月に東邦大学健康科学部の学生に対して「デートDV」について講義。 ・令和5年11月に市庁舎1階展示スペースで行われた「女性に対する暴力をなくす運動」において、デートDVに関するチラシの設置及び配布を行った。	・若い世代への啓発機会に限られる中で、今年度は東邦大学健康科学部の学生を対象とした研修の講師をとおして、講義をする機会を得られた。引き続き、若い世代への広報・啓発の方法について検討する必要がある。	引き続き、様々な機会をとらえた啓発方法を検討する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	令和5年7月に実施した東邦大学健康科学部の学生に対する講義では、70人ほどの学生が受講し、若い世代への啓発につながった。	多様性社会推進課(旧:男女共同参画センター)
36	36-2	【新規】デートDVに関する啓発	生徒に対して、デートDVに関する啓発を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	各学校における性教育の中でデートDVについても取り上げるよう依頼した。	各学校で計画している生と性の講演の中でデートDVについても触れることはできるが、その他の内容も盛りだくさんなため、深く掘り下げることが難しい。	各校と担当講師との打ち合わせの中で、デートDVについても講演内容で取り上げるよう、依頼する。	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	各校で計画している生と性の講演の中でデートDVについて触れることはできているが、時間の関係で深く掘り下げることが難しかった。	保健体育安全課(旧:学校教育課)
36	36-3	【新規】デートDVに関する啓発	生徒に対して、デートDVに関する啓発を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	各種相談窓口を周知した。	小・中学生を対象としたデートDVに特化した啓発活動は今年度特に実施していない。	ポスター等による啓発を継続し、児童生徒が相談できる窓口については引き続き、周知を徹底する。	A:貢献できた	A:貢献できた	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	必要性が高いと考えられる高校生への啓発活動や相談窓口の周知について実施できている。	指導課

基本目標	I 人権が尊重される社会づくり
課題	4 配偶者・パートナーの間に生じる暴力(DV)の防止と対応
施策の方向	②DV被害者が安心して相談できる体制の整備《重点施策》

No.	事業コード	事業名	事業内容	R5管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度						担当課
					令和5年度事業実績(具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	令和5年度の貢献度	評価の理由	
37	37-1	各種相談員のDV等に関する相談技術の向上	DV啓発研修や男女共同参画に関する研修への参加により、多様化する相談内容に適切に対応します。	【管理指標項目】 相談員のDV研修などの参加回数  【目標値】 年2回以上  【5年度実績】 年9回	DV相談における対応に関する研修会に9回出席した。	特になし	引き続き、DV・児童虐待関係の研修への参加により、多様化する課題に対応できるよう専門性を高めていく。	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	相談員が積極的に研修に参加したことで、専門的な知識が深まり、結果として多様な相談に対し柔軟に対応できた。	子育て支援課
37	37-2	各種相談員のDV等に関する相談技術の向上	DV啓発研修や男女共同参画に関する研修への参加により、多様化する相談内容に適切に対応します。	【管理指標項目】 相談員のDV研修などの参加回数  【目標値】 年1回以上 【5年度実績】 年2回	相談員のDV研修などの参加回数2回	・スーパービジョン研修や教育相談研修を通して、講師の先生から多様な相談内容について、相談の仕方や寄り添い方などについて指導いただいた。 ・DVが疑われる段階で他の機関との連携を迅速に図った。	多様な相談内容に対応するためには、日頃から外部機関との連携や、相談員の資質向上が必要であるため、男女共同参画に関する研修会に指導主事や教育相談員、心理士等が参加し、所内で共有する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	・毎月ケース会議を開催し、相談ケースの共有を図っている。また日々の相談ケースの中でDV等との関連が見られる場合、他課や関係機関等と連携を積極的に行った。 ・指導主事や教育相談員、心理士等が参加した研修によって学んだことをケース会議等で、他の職員に啓発できた。	総合教育センター
38	38-1	DV家庭の子どもへの支援	子どもの養育および発達に関する相談に応じながら、DV家庭の早期発見に努め、虐待が疑われる子どもについて、関係機関との連携により支援を行います。	【管理指標項目】  【目標値】  【5年度実績】	アウトリーチ型相談支援事業としてこどもセンターに出向き、子育て相談の日事業を実施した。	コロナ禍に引き続き、社会情勢の変化に合わせた相談対応として、積極的なアウトリーチを行うことができた。	引き続き、社会情勢の変化に合わせた相談対応を行い、DV家庭の早期発見に努め、虐待が疑われる子どもについて、関係機関との連携により支援を行います。子育て相談の日事業を引き続き実施する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	こどもセンター等に出向く子育て相談の日事業を実施し、子育て中の親の声を聴くこと、相談に応じることができた。	子育て支援課
38	38-2	DV家庭の子どもへの支援	子どもの養育および発達に関する相談に応じながら、DV家庭の早期発見に努め、虐待が疑われる子どもについて、関係機関との連携により支援を行います。	【管理指標項目】  【目標値】  【5年度実績】	DVや児童虐待について相談があった場合、子育て支援課等の関係機関と連携を図りながら対応し、体制の構築に努めた。	各職員がDVや児童虐待に関する知識を身につけ相談対応する必要がある。	・子育て支援課等、関係機関との連携体制の構築に努める。 ・研修などを通じてDVや児童虐待に関する知識向上に努める。 ・相談者が安心して相談できる環境や体制づくりに努める。	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	相談対応の中でDVや児童虐待が疑われる状況が確認できた場合、子育て支援課に情報を伝え、対応を協議した。	ひまわり発達相談センター
39	39	女性の生き方相談の充実	女性の生き方相談の充実を図るとともに、関連する相談機関との連携を図り、相談者の支援、保護に取り組みます。	【管理指標項目】  【目標値】  【5年度実績】	年60回の相談を実施。相談終了後はカウンセラーから報告を受け、情報共有と連携が必要なケースは速やかに連携を図った。 相談件数 241件(うち新規49件) 他機関への連携 45件 DV相談件数 80件	利用者アンケートやこれまでの運営方法の見直しを図り、より充実した相談体制を構築する必要がある。	これまでの運用方法の見直しを行い、夜間相談日の拡張(第1金曜日⇒第1・3金曜日)及び実施日の変更を行う。 引き続き、相談者が安全・安心に相談のできる環境を整え、より良い相談体制の構築を図る。	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	令和2年度において減少した相談件数は増加傾向にある。 悩みを抱える女性の相談の場として、安全・安心な相談環境の場を整えることができた。	多様性社会推進課(旧:男女共同参画センター)
40	40	男性の生き方に対する相談体制の充実	相談者の訴えをしっかりと受け止め、必要に応じて専門相談機関などと連携を図りながら相談支援を実施します。また、男性相談の実施について検討します。	【管理指標項目】  【目標値】  【5年度実績】	・男性からの相談10件(元交際相手とのトラブル2件、家族関係(暴力含む)4件、仕事の関係2件、DV一般について2件)	男性からの相談は職員が対応し、千葉県が実施する「男性のための総合相談」を紹介している。相談件数の推移等を見ながら、男性相談の実施について研究する。	本人の話を伺い、必要に応じて関係機関の紹介を行う。 専門相談員による男性相談の実施について検討する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	相談者の話を伺い、必要に応じて千葉県が実施する「男性のための総合相談」を紹介し、状況に応じた相談窓口を案内している。	多様性社会推進課(旧:男女共同参画センター)
41	41	健康相談事業の充実	健康な生活ができるよう、必要な情報提供を行います。また、必要に応じて関係機関と連携し、適切な対応をします。	【管理指標項目】  【目標値】  【5年度実績】	地区保健活動全体で安心できる相談体制に努めた。相談内容に応じて、必要な情報提供・相談に努め、速やかに関係機関との連携対応に努めた。	コロナ禍から新しい生活様式への移行に伴う心理的・身体的・社会的な変化から生じる課題を把握する必要がある。	引き続き、広報やHP、健康教育等の機会でも周知を図り、市民が相談しやすい体制を整えていく。	S:大いに貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	健康に関する相談を受ける中で、背景にDVがあることを把握し、関係機関につなげることができた。当事者も認識できていないDVを把握できたこともあった。	健康支援課

基本目標	I 人権が尊重される社会づくり
課題	4 配偶者・パートナーの間に生じる暴力(DV)の防止と対応
施策の方向	②DV被害者が安心して相談できる体制の整備《重点施策》

No.	事業コード	事業名	事業内容	R5管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度						担当課
					令和5年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	令和5年度の貢献度	評価の理由	
42	42	高齢者への情報提供と相談の充実	市内5カ所の高齢者相談センター(地域包括支援センター)において、虐待や暴力などを受けている人々についての相談に対応し、情報提供を随時行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	当事者や介護事業者、近隣住民等からの相談に応じ、必要な情報収集を行うとともに、虐待防止に向けた情報提供を随時、行った。	高齢者虐待の認識不足や、家族間の関係性から生じる問題について、介入の困難さがある。	相談窓口の周知や、虐待についての啓発に努める。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	当事者や介護事業者、近隣住民等からの相談に応じ、必要な情報収集を行うとともに、虐待防止に向けた情報提供を行った。 また、相談業務に当たる職員が研修を受け、適切な対応を行った。	高齢者支援課
43	43	【新規】障がいのある人への情報提供と相談の充実	関係課と連携を図りながら、障がいのあるDV被害者についての相談に対応し、情報提供を随時行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	障がい者虐待防止センターとして、配偶者等からの虐待を受けた障がい者に対し、相談等支援に応じた。	本人の心身の状況を踏まえた支援を実施していくにあたり、困難課題を持つ方については、長期的な支援を要することがある。	関係課及び関係機関等と連携し、本人の意向を踏まえ、支援に必要な情報提供に努める。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	随時本人の相談にのることが出来る旨を伝えたり、相談にのることによって、問題解決に取り組むことが出来、本人の安心につながった。	障がい福祉課
44	44	DVに関する相談窓口の周知	配偶者暴力相談支援センター等のDV相談窓口について、チラシ等の配布や広報紙、ホームページ等の掲載により周知を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	DVや暴力に関する相談窓口の案内を広報習志野11月1日号に掲載。女性に対する暴力をなくす運動期間にパネル展示を行い、相談窓口の周知を行ったほか、市庁舎トイレ等にDV相談ナビのステッカーを貼付した。	DVや暴力に関する情報や、相談窓口の案内について、広く周知する必要がある。	様々な機会をとらえた啓発を検討する。	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	広報紙による啓発の他、DVや暴力に関する相談窓口の周知を目的としたパネル展示を実施し、情報提供を行った。	多様性社会推進課(旧:男女共同参画センター)

基本目標	I 人権が尊重される社会づくり
課題	4 配偶者・パートナーの間に生じる暴力(DV)の防止と対応
施策の方向	③DV被害者の生活再建に向けた支援

No.	事業コード	事業名	事業内容	R5管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度						担当課
					令和5年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度 の貢献度	令和3年度 の貢献度	令和4年度 の貢献度	中間評価	令和5年度 の貢献度	評価の理由	
45	45-1	緊急保護を求めるDV被害者への支援	関係機関との連携を取り、被害者を一時保護につなぐ等の適切な支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	DV被害者の緊急一時保護の実績1件(令和5年9月)。DV相談の対応として、生活相談課、高齢者支援課、子育て支援課、警察署、女性サポートセンター等と相談・連携し対応した。令和4年度から開始した配偶者暴力被害者緊急避難支援(緊急避難時に一時的に必要な交通費・宿泊費・食費の支給)による支給1件。DV防止推進担当課長会議にてDV・虐待等被害者への各課の対応について共有を図った。	緊急避難支援の制度について関係各課への周知を図る。	緊急一時保護の申し出があった際は、個々の状況に応じて関係各課や外部機関と連携を取りながら支援を行う。緊急避難支援費用の申し出があった際は状況を確認し、適切な支給を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	緊急一時保護の申し出があった際に、関係各課及び外部機関と連携を図りながら適切に対応している。個々の状況に応じた避難支援策として、令和4年度から開始した配偶者暴力被害者緊急避難支援を活用し、適切に支援を行った。	多様性社会推進課(旧:男女共同参画センター)
45	45-2	緊急保護を求めるDV被害者への支援	関係機関との連携を取り、被害者を一時保護につなぐ等の適切な支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	関係機関との連携を取り、被害者を迅速にシェルター等につなぐ支援を行った。	児童相談所・女性サポートセンター・警察等の関係機関との連携強化が必要。	各関係機関との連携を図り、被害者を一時保護につなぐ等の適切な支援を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	相談があった際に関係機関と連携をとり、迅速かつ適切な支援ができた。	子育て支援課
46	46	DV被害者支援制度についての情報提供	DV被害者を支援する制度について、被害者の状況に応じた情報提供や証明書の作成など自立に向けた支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	住民税非課税世帯生活支援給付金(追加分)の支給にあたり、DV等被害の確認証の発行を行った。(5件)	住民税非課税世帯生活支援給付金(追加分)の確認証の発行について、国からの通達に迅速に対応し、発行を行った。また、DV被害者等が必要とする証明書等の発行の希望があった場合は、窓口等の情報提供を行う必要がある。	DV被害者等が必要とする証明書等の発行について、窓口等の情報提供を行う。	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	住民税非課税世帯生活支援給付金(追加分)における確認証の発行について国からの通達に迅速に対応し、発行を行った。また、DV被害者等が必要とする証明書等の発行希望があった場合は、関係機関を案内し、情報提供を行った。	多様性社会推進課(旧:男女共同参画センター)
47	47	生活困窮に関する相談支援	生活に困窮するDV被害者に対し、らいふあつぷ習志野において、相談に応じます。生活保護による支援が必要な場合は、生活保護制度につながります。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	令和5年度は3件の相談を受け対応した。	習志野市はシェルターを持っていないので一時避難場所を探すのが困難である。	実績を積み上げて、シェルター運営の是非を検討したい。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	B:あまり貢献できなかった	同居者からのDV案件に関して、相談内容が複合化しており、相談者が希望する支援ができなかった。	生活相談課
48	48	高齢者への自立支援	養護者(配偶者や家族など)からの虐待を受けた高齢者の自立に向けて、施設利用も含め支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	対象者やその家族に対し、生活上の助言等を行い、緊急的に避難を要する事案については、一時的な施設利用を迅速に支援した。	高齢者施設の空き室の確保が困難になっているため、即日の保護が厳しい状況になっている。各施設や関係機関との連携と情報共有が、ますます必要となっている。	引き続き、関係機関との日頃の連携を強化し、迅速な判断を行い、適切な対応をしていく。また、虐待に関する周知について努めていく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	対象者やその家族に対し、生活上の助言等を行い、緊急的に避難を要する事案については、一時的な施設利用を迅速に支援した。	高齢者支援課
49	49	障がいのある人への自立支援	養護者(配偶者や家族など)からの虐待を受けた障がいのある人の自立に向けて、施設利用も含め支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	養護者(配偶者や家族など)からの虐待を受けた障がいのある人の自立に向けて、施設利用につなげる支援を行った。	施設利用については、本人の意思確認を行う必要があることから、支援が長期化し易い傾向があった。	関係機関と連携を図り、虐待の早期解決に向け、本人の意向を踏まえ、支援を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	本人の意向を踏まえ、支援を実施出来た。	障がい福祉課
50	50	住宅に関する情報提供	DV被害者が新たな生活の場を見つけるため、市営、県営住宅などの公営住宅の優先入居などに関する情報を提供します。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	本課がDV被害者に特化した窓口でないことに加え、提供できる市営住宅の空きがないことから、率先しての情報提供を行うことは出来ないが、県営住宅への案内は行った。被害者及び相談窓口担当課より依頼があった際は、可能な範囲での情報提供の準備を行った。	特になし。(補足)令和5年度市営住宅の募集において、DV被害者に応募資格がある旨を周知していたが、応募実績はなかった。	情報提供については、継続して行い、今後の市営住宅応募資格について、関係機関等を通じて、募集制度の周知に努め、DV被害者等の救済方法の一つとして取組む。また、らいふあつぷ習志野等外部機関との連携も深めていく。	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	DV被害世帯からの応募がなかった。	住宅課

基本目標	I 人権が尊重される社会づくり
課題	4 配偶者・パートナーの間に生じる暴力(DV)の防止と対応
施策の方向	④DVの防止と対応のための関係機関等との連携・協力

No.	事業コード	事業名	事業内容	R5管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度						担当課
					令和5年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の 貢献度	令和3年度の 貢献度	令和4年度の 貢献度	中間評価	令和5年度の 貢献度	評価の理由	
51	51	庁内関係部署との連携	DV防止推進関係課長会議の開催や庁内関係部署との連携を図り、情報の提供や共有に努めます。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	DV業務にかかる関係課長で構成する「DV防止推進関係課長会議」の開催。 第1回 令和5年7月20日  DV・虐待等被害者への各課の対応について共有を図るほか、令和4年度のDV状況の報告を議題とし、その他情報漏洩時の対応について報告を行った。	DV・虐待等や情報漏えい時については迅速、適切に対応を行う必要がある。作成したフローチャートについて、定期的に庁内への周知を行い、適切な対応を行う必要がある。また、配偶者暴力避難支援についても関係各課へ周知を図る必要がある。	DV等被害者への適切な対応を図るため、情報共有、庁内周知に努める。	A: 貢献できた	S: 大いに貢献できた	A: 貢献できた	A: 貢献できた	A: 貢献できた	DV・虐待等の対応について、フローチャートを作成し、関係課との連携強化を図った。また、「DV防止推進関係課長会議」を通じて、庁内へ周知した。	多様性社会推進課(旧:男女共同参画センター)
52	52-1	庁外関係機関との連携	県主催の連絡会議の出席により、情報交換に努め、県、警察、民生委員・児童委員などと積極的に連携を図ります。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	・令和5年4月千葉県主催「DV・児童虐待相談新任職員研修」へ参加。 ・令和5年7月子育て支援課主催「MY TREEペアレンツ・プログラム研修」に参加。他機関職員とともに、虐待等について学習。 ・令和5年9月「DV・児童虐待相談担当職員研修(Ⅰ部)」に参加。DVの加害者の特性等について学習。 ・令和5年11月「DV被害者支援連絡会議」に参加。他機関職員とともに事例検討など実施。 ・令和6年3月「習志野圏域連絡調整会議」に参加。習志野圏域の福祉・医療・保健・司法・教育などの関係機関の職員とともに、中核地域生活支援センターの役割について学習。	引き続き連絡会議に参加し情報共有を図るとともに、関係機関との連携についてに検討する必要がある。	関係機関との連携について検討する。	D: 事業を実施できなかった	A: 貢献できた	S: 大いに貢献できた	A: 貢献できた	S: 大いに貢献できた	県が主催する連絡会議等へ出席し、他自治体及び他機関の業務や支援方法について積極的に情報収集を行い、必要に応じてその内容を連携する庁内関係部署の情報提供を行った。	多様性社会推進課(旧:男女共同参画センター)
52	52-2	庁外関係機関との連携	県主催の連絡会議の出席により、情報交換に努め、県、警察、民生委員・児童委員などと積極的に連携を図ります。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	県主催の連絡会議に出席したほか、ならしの子どもを守る地域ネットワークにおいて情報交換に努め、児童相談所、警察、民生委員などと積極的に連携を図った。	関係機関(児童相談所、警察、民生委員・児童委員など)との情報交換の際は最新の情報を取得することが必要である。	引き続き、県主催の連絡会議の出席により、情報交換に努め、県、警察、民生委員・児童委員などと積極的に連携を図る。	A: 貢献できた	A: 貢献できた	A: 貢献できた	A: 貢献できた	A: 貢献できた	各連絡会に出席し、情報収集に努めた。ならしのこどもを守る地域ネットワークの会議では情報を共有した。	子育て支援課
52	52-3	庁外関係機関との連携	県主催の連絡会議の出席により、情報交換に努め、県、警察、民生委員・児童委員などと積極的に連携を図ります。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	男女共同参画センターから配布された県のDV相談カード及び県のDV啓発チラシを、各地区の民生委員児童委員に配布し周知した。	男女共同参画センターから配布された県のDV相談カード及び県のDV啓発チラシを、各地区の民生委員児童委員に配布し周知した。地域住民と行政のパイプ役として活躍している民生委員児童委員に有益な情報を提供できるよう努め、常に連携強化を図ることができた。	引き続き、連携を図っていく。	A: 貢献できた	A: 貢献できた	A: 貢献できた	A: 貢献できた	A: 貢献できた	男女共同参画センターから配布された県のDV相談カード及び県のDV啓発チラシを、各地区の民生委員児童委員に配布し周知した。	健康福祉政策課(旧:社会福祉課)



基本目標	Ⅱ 誰もがあらゆる分野に参画し活動できる環境づくり
課題	1 政策・方針決定における女性の参画の推進
施策の方向	① 市政における女性の参画の推進《重点施策》

No.	事業コード	事業名	事業内容	R5管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度						担当課
					令和5年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度 の貢献度	令和3年度 の貢献度	令和4年度 の貢献度	中間評価	令和5年度 の貢献度	評価の理由	
53	53-1	【女性活躍】 審議会などへの女性委員の登用の推進	各種審議会等委員への女性の積極的な登用を推進します。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	・「習志野市審議会等の設置及び運営等に関する指針」に基づき、令和6年1月に総務部長次、協働経済部長次の連名で、庁内各部署が所管する審議会等において女性委員の積極的な登用依頼を通知。 ・女性委員のいないまたは1割未満の担当課には女性登用の進まない理由及び今後の見通しについて調査を実施した。 (令和5年4月1日現在) ・女性委員のいないまたは1割未満の審議会等 9件 ・女性委員登用率 32.2%	庁内各部署に、審議会等の女性委員登用に関する依頼を通知しているが、平成29年度以降3割に達していない。 今回の調査結果から、委員の選定方法などにより女性登用が難しい状況である審議会もあり、引き続き女性委員の登用を要請する必要がある。	引き続き女性登用がされない審議会等を所管する担当課に、その理由や今後の方向性等について、実態を確認する。	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	庁内各部署に、審議会等の女性委員登用に関する依頼を通知しているが、平成29年度以降3割に達していない。委員の選定方法などにより女性登用が難しい状況である審議会もあり、引き続き協力を要請する必要がある。	多様性社会推進課(旧:男女共同参画センター)
53	53-2	【女性活躍】 審議会などへの女性委員の登用の推進	各種審議会等委員への女性の積極的な登用を推進します。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	審議会等における委員委嘱の際に、担当課からの事前協議の段階で、男女共同参画の視点から委員構成を検討するよう指導した。	各審議会等の担当課において、男女共同参画の視点からの委員構成を検討することが、まだ十分に意識付けされていない。	引き続き、事前協議の際などに、男女共同参画の視点からの委員構成を検討するよう呼びかけ続けるとともに、指針等の周知を推進する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	公募委員選考委員会に使用する様式において、女性委員の登用の意識を高めるため、様式に女性委員の登用率を記載した。	総務課
54	54	男女共同参画の視点を持った人材の情報提供	男女共同参画の視点を持った人材の情報を収集し、提供します。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	・令和5年度における情報提供依頼なし。 ・令和5年11月に男女共同参画施策庁内推進会議にて人材リストの活用について周知を図った。	・平成22年3月より取り組んでいる人材リストの整備については、これまで17件の情報提供を行ったが、活用に至っていない現状である。 ・3年に一度リストの更新を行っているが、令和5年度に行った更新作業では、21名から7名に減少している。	人材リストの整備の在り方について検討する。	B:あまり貢献できなかった	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	リストの活用がないため、人材リスト整備の在り方について検討が必要である。	多様性社会推進課(旧:男女共同参画センター)
55	55	開かれた議会への取り組み	市民により一層身近で親しみやすい市議会を目指し、ホームページや市議会報の改善に取り組むとともに市議会報をより多くの人に読んでもらえるよう努めます。	【管理指標項目】 市議会報の発行回数 【目標値】 年4回 【5年度実績】 年4回	前年度に引き続き、市ホームページの改善を心掛け、傍聴に係る情報等、市民が求める情報の掲載に努めた。 また、議会報編集委員が中心となり、市民にとってよりわかりやすい市議会報を目指し作成を行うとともに、市議会報の駅前配布、新聞折り込み及び駅への設置等、より多くの人に読んでもらうための取り組みを行った。	特になし	市ホームページや市議会報の掲載内容・レイアウト等を定期的に見直し、市民が必要とする情報を速やかに発信できるよう努める。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	コロナ禍で中断していた市議会議員による市議会報の駅前配布を再開したことにより、市議会を身近に感じる機会を設けることができた。	議会事務局
56	56	【女性活躍】 市役所女性職員の活躍推進	女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画に基づき、女性が働く職域の拡大を図ります。また、指導的立場につく女性に対して、各種研修の参加を促進するなど育成・支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	女性活躍推進研修を実施。 (令和5年6月21日,受講者数:17名)	主体的にキャリアを形成することで、仕事に対する意欲を高めていく必要がある。	令和6年度においても、女性職員を対象としたキャリア研修を予定している。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	女性管理職をロールモデルに意見交換を実施し、将来のキャリアについて考える研修の場を提供できた。	人事課

基本目標	Ⅱ 誰もがあらゆる分野に参画できる環境づくり
課題	1 政策・方針決定における女性の参画の推進
施策の方向	②事務所等における多様性(ダイバーシティ)の促進《重点施策》

No.	事業コード	事業名	事業内容	R5管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度						担当課
					令和5年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	令和5年度の貢献度	評価の理由	
57	57-1	【女性活躍】 各種表彰・認定・登録・認証制度の周知	市内事業所や市民などに対し、千葉県男女共同参画推進事業所表彰制度や女性活躍推進法に基づく認定制度「えるぼし」等の周知を行います。また、商工会議所などの関係機関と連携し、認定に向けた支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	・令和5年6月・11月「性の多様性講座」(34人)にて配布 ・令和5年7月「男女共同参画週間事業」(30人)にて配布 ・令和5年9月「パラレルキャリア講座」(14人)にて配布 ・令和5年10月「女性のための再チャレンジ支援講座」(17人)にて配布 ・令和6年2月「男女共同参画啓発講座」(12人)にて配布 ・令和4年4月「トライくるみんな」の新設を受け、表彰認定登録制度に関するパンフレットの更新を行った。	引き続き、制度周知に向けた取り組みを検討していく必要がある。	更新したパンフレットを市民向けの講座等で配布し、市民への周知に活用する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	認定・表彰を受けている市内の事業所一覧を掲載した認定・表彰制度のパンフレットを作成し、各種講座で配布を行った。	多様性社会推進課(旧:男女共同参画センター)
57	57-2	【女性活躍】 各種表彰・認定・登録・認証制度の周知	市内事業所や市民などに対し、千葉県男女共同参画推進事業所表彰制度や女性活躍推進法に基づく認定制度「えるぼし」等の周知を行います。また、商工会議所などの関係機関と連携し、認定に向けた支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	令和5年11月に実施した労働講演会は、商工会議所の広報協力により、多くの参加人数を集客することができ、女性活躍推進法に基づく認定制度に関するリーフレット(男女共同参画センター作成)を配架し、啓発に努めた。また、同様のリーフレットを窓口にも配架し周知に努めた。	特になし	市制施行70周年の冠事業として、講演会を多様性社会推進課と共催し、その講演会にて、多様性社会推進課にて作成している女性活躍推進法に基づく認定制度に関するリーフレットを配架する。窓口への配架は継続して行う。	A:貢献できた	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	例年と比較して、商工会議所、男女共同参画センターと協力して、多くの市民や市内事業者に対して周知を行うことができた。	産業振興課
57	57-3	【女性活躍】 各種表彰・認定・登録・認証制度の周知	市内事業所や市民などに対し、仕事と介護の両立支援「トモニン」等の周知を行います。また、商工会議所などの関係機関と連携し、認定に向けた支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	高齢者の就業を支援する機関(シルバー人材センター)に市で作成した認定・表彰制度のチラシを配架している。また、同センターの女性会員増のため、通常の入会説明会に加え、女性限定の入会説明会の周知を市広報紙で実施。	高齢者の就業を支援する機関(シルバー人材センター)においては女性会員数が少なく、如何にして女性会員を増加させるかが課題となっている。	引き続き高齢者の就業を支援する機関(シルバー人材センター)の実施する女性会員増のための入会説明会等の実施を市広報紙で周知する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	シルバー人材センターに市で作成した認定・表彰制度のチラシを配架しているほか、女性会員数増加のため、シルバー人材センターが実施している女性限定の入会説明会の実施について、毎回市広報紙にて周知を実施している。	高齢者支援課
57	57-4	【女性活躍】 各種表彰・認定・登録・認証制度の周知	市内事業所や市民などに対し、仕事と介護の両立支援「トモニン」等の周知を行います。また、商工会議所などの関係機関と連携し、認定に向けた支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	市内障害福祉サービス事業所への情報提供や窓口パンフレットを配架し、周知を図った。	周知する機会が乏しい。	継続して市内障害福祉サービス事業所及び市民などに対して周知図っていく。	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	A:貢献できた	市内障害福祉サービス事業所及び市民へ周知できた。	障がい福祉課
57	57-5	【女性活躍】 各種表彰・認定・登録・認証制度の周知	市内事業所や市民などに対し、仕事と介護の両立支援「トモニン」等の周知を行います。また、商工会議所などの関係機関と連携し、認定に向けた支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	令和5年11月に実施した労働講演会は、商工会議所の広報協力により、多くの参加人数を集客することができ、女性活躍推進法に基づく認定制度に関するリーフレット(男女共同参画センター作成)を配架し、啓発に努めた。また、同様のリーフレットを窓口にも配架し周知に努めた。	特になし	市制施行70周年の冠事業として、講演会を多様性社会推進課と共催し、その講演会にて、多様性社会推進課にて作成している女性活躍推進法に基づく認定制度に関するリーフレットを配架する。窓口への配架は継続して行う。	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	例年と比較して、商工会議所、男女共同参画センターと協力して、多くの市民や市内事業者に対して周知を行うことができた。	産業振興課
57	57-6	【女性活躍】 各種表彰・認定・登録・認証制度の周知	市内事業所や市民などに対し、次世代育成支援対策推進法に基づく認定制度「くるみん、プラチナくるみん」や、習志野市子育て支援先端企業認証制度の周知を行います。また、商工会議所などの関係機関と連携し、認定に向けた支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	習志野市子育て支援先端企業認証制度について、市ホームページへ掲載するとともに、男女共同参画センターが発行している制度周知を図る冊子を窓口を設置し、新規事業者登録の周知を図ったものの、新規登録申請はなかった。	千葉県の「”社員いきいき！元気な会社”宣言」など類似の事業もある中、事業者にとって認証に係るメリットが少なく、近年新たな新規登録申請はない状態が続いている。	引き続き、習志野市子育て支援先端企業認証制度をさらに周知するため、市ホームページの更新や商工会議所・青年会議所などにも周知する等、新規認証事業者の参入を図るとともに、制度の見直しを検討する。	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	新規登録事業者がなかった。	こども政策課

基本目標	Ⅱ 誰もがあらゆる分野に参画できる環境づくり
課題	1 政策・方針決定における女性の参画の推進
施策の方向	②事務所等における多様性(ダイバーシティ)の促進《重点施策》

No.	事業コード	事業名	事業内容	R5管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度						担当課
					令和5年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度 の貢献度	令和3年度 の貢献度	令和4年度 の貢献度	中間評価	令和5年度 の貢献度	評価の理由	
57	57-7	【女性活躍】 各種表彰・認定・登録・認証制度の周知	市内事業所や市民などに対し、次世代育成支援対策推進法に基づく認定制度「くるみん、プラチナくるみん」や、習志野市子育て支援先端企業認証制度の周知を行います。また、商工会議所などの関係機関と連携し、認定に向けた支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	令和5年11月に実施した労働講演会は、商工会議所の広報協力により、多くの参加人数を集客することができ、女性活躍推進法に基づく認定制度に関するリーフレット(男女共同参画センター作成)を配架し、啓発に努めた。また、同様のリーフレットを窓口にも配架し周知に努めた。	特になし	市制施行70周年の冠事業として、講演会を多様性社会推進課と共催し、その講演会にて、多様性社会推進課にて作成している女性活躍推進法に基づく認定制度に関するリーフレットを配架する。窓口への配架は継続して行う。	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	例年と比較して、商工会議所、男女共同参画センターと協力して、多くの市民や市内事業者に対して周知を行うことができた。	産業振興課
58	58	【女性活躍】 女性活躍、ワーク・ライフ・バランスに取り組みむ事業所に対する入札制度における優遇(インセンティブ)の付与	女性の活躍やワーク・ライフ・バランス等の実現に向けて、積極的に取り組む事業所の受注機会を増大する公共調達のしくみを導入します。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	令和5年度は総合評価落札方式での入札はなかった。	令和5年度は総合評価落札方式での入札はなかった。	地方自治法では契約の締結においては価格競争が原則となっており、例外として総合評価落札方式を適用できるため、優遇の付与が出来る事業が限られる。対象となる入札において男女共同参画等に関する項目を設定するよう更なる周知を図る。	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	総合評価落札方式での入札がなかった、	契約検査課
59	59	【女性活躍】 認定(表彰)を受けた優れた事業所の取り組みに対する情報発信	認定(表彰)された事業所やその取り組みを、好事例として市民、事業所、学生などに向けて幅広く情報発信します。また、このような取り組みを進める事業所を増やします。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	・令和5年6月・11月「性の多様性講座」(34人)にて配布 ・令和5年7月「男女共同参画週間事業」(30人)にて配布 ・令和5年9月「パラレルキャリア講座」(14人)にて配布 ・令和5年10月「女性のための再チャレンジ支援講座」(17人)にて配布 ・令和6年2月「男女共同参画啓発講座」(12人)にて配布 ・令和4年4月「トライくるみん」の新設を受け、表彰認定登録制度に関するパンフレットの更新を行った。 ・女性の起業と多様な働き方をテーマとした内容を情報紙「きらきら」第57号に掲載。商工会議所を経由し、会議所会員に配布した(2,000部)。	引き続き、制度周知に向けた取り組みを検討していく必要がある。	更新したパンフレットを市民向けの講座等で配布し、市民への周知に活用する。	S:大いに貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	認定・表彰を受けている市内の事業所一覧を掲載した認定・表彰制度のパンフレットを作成し、各種講座で配布を行った。	多様性社会推進課(旧:男女共同参画センター)

基本目標	Ⅱ 誰もがあらゆる分野に参画し活動できる環境づくり
課題	2 まちづくりににおける男女共同参画の促進
施策の方向	①地域活動における男女共同参画の促進

No.	事業コード	事業名	事業内容	R5管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度						担当課
					令和5年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度 の貢献度	令和3年度 の貢献度	令和4年度 の貢献度	中間評価	令和5年度 の貢献度	評価の理由	
60	60	町会・自治会などの活動への男女の共同参画意識の啓発および意思決定への女性の参画促進	連合町会連絡協議会との連携のもと、町会・自治会などの活動の啓発と男女共同参画意識の向上に努めます。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	連合町会連絡協議会及び連合町会への財政的支援として、補助金を交付した。自治功労者顕彰式において、各町会より男女問わず推薦があり、15名が受賞された。また、連協事務局として、女性役員意見交換会の実施及び連合町会連絡協議会主催視察研修等への参加を働きかけた。行政問題学習会は、187名の参加があり、市の防災について学習会を行った。	新型コロナウイルス感染症が5類へ移行してから地域においても、徐々に以前の規模で行事等を開催している。行動制限があった時期にデジタル媒体を活用し地域連携をおこなっていた地区では、引き続きLINE等の活用がみられる。今後も地域活動の簡易化・効率化につながる部分は後押しできるよう、ニーズに基づき地域に根付くデジタル化を検討し、推進していく。	引き続き、年代、性別等を問わず興味を持って参加できるテーマを設定し、視察研修及び行政問題学習会を実施する。 令和6年度連合町会連絡協議会第1回総会（4月26日開催予定）において、女性役員意見交換会の実施について議案として提出する。意見交換会を重ね、女性部会の設立について検討し、各地区の女性たちの意見を連協の活動に反映するための組織づくりを進める。	A: 貢献できた	A: 貢献できた	A: 貢献できた	A: 貢献できた	A: 貢献できた	各地区連合町会への補助金交付をとおし、地域活動活性化へ広く貢献できた。また、女性役員意見交換会の実施は、地域の女性の声を聴く環境の足掛りとなった。自治功労者顕彰式や行政問題学習会にも多くの町会・自治会関係者の出席があり、地域の学習意欲の向上に貢献できた。	協働政策課
61	61	市民活動団体の支援ならびに市民活動およびボランティア活動の情報提供	市民活動団体を支援するとともに、「習志野市ボランティア・市民活動センター」と連携を図りながら、市民活動およびボランティア活動の情報提供に努め、性別にかかわらず、市民活動に参画できるように促します。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	市民等から団体の紹介を求められた際に、性別にかかわらず市民協働インフォメーションルーム登録団体の紹介（地域情報ポータルサイト）やボランティア・市民活動センターを紹介するなど対応を行った。 市民活動団体と市民活動に興味・関心のある人が参加するイベント・講座等において、地域情報ポータルサイトの周知および市民活動の情報提供を行った。	会員の高齢化に伴い、新規会員の募集や新たな公益的な事業に取り組む団体が少なくなっている。	引き続き、市民等からの問い合わせに対して年齢や性別にかかわらず適切に対応する。	A: 貢献できた	A: 貢献できた	A: 貢献できた	A: 貢献できた	A: 貢献できた	広報習志野への掲載、イベント・講座の開催時に地域情報ポータルサイトを周知することにより、市民活動に関する情報提供を効果的に行うことができた。	協働政策課
62	62	ボランティア活動の普及・啓発	公民館利用サークルが、男女ともに日々の活動成果を地域・社会に還元できるように支援します。また、学習圏会議の活動において男女ともにボランティア活動に参加できるような場を提供します。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	・全公民館において、公民館利用サークルの活動成果を発表する展示や実演発表を行う市民文化祭を開催し、各サークルから運営ボランティアとして参加してもらった。また、公民館利用サークルに講師を依頼し、子ども講座を開催した。 ・学習圏会議では、音楽祭や各イベントを実施し、学習圏会議の会員のほか、PTAや中学生等に運営ボランティアとして参加してもらった。	・各サークルとも高齢化により、文化祭の設営等をする運営委員が減少している。 ・学習圏会議の会員の高齢化とコロナ明けにより、技術の継承が難しかった。また、会員を増やし後継者を育てることが急務である。	・サークル連絡協議会の役員の負担をできるだけ減らしながら、文化祭の参加を呼び掛ける。 ・サークルに所属しているという連帯感を深めていただけるようにサポートする。 ・学習圏会議は会員を増やせるように工夫していく。	B: あまり貢献できなかった	B: あまり貢献できなかった	A: 貢献できた	A: 貢献できた	A: 貢献できた	市民文化祭、地域学習圏会議主催事業を通じて公民館サークルが地域、社会に還元できるよう支援できた。	公民館

基本目標	Ⅱ 誰もがあらゆる分野に参画活動できる環境
課題	2 まちづくりにおけるい男女共同参画の促進
施策の方向	②防災における男女共同参画の促進《重点施策》

No.	事業コード	事業名	事業内容	R5管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度						担当課
					令和5年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	令和5年度の貢献度	評価の理由	
63	63	男女共同参画の視点を盛り込んだ防災体制の整備	女性および性の多様性に配慮した地域防災計画とするための点検や見直し、ならびに防災用品の整備と避難所運営に取り組みます。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	1. 防災会議の委員において新たに女性2人を増員し女性の視点を取り入れる体制を整備した。(女性比42人中5人:12%) 2. 前年度に引き続き、各避難所の配備職員3名の内、女性1人を配置し女性避難者からの意見や避難所でのコミュニケーション確保を整備した。	引き続き、各避難所に女性職員1名以上を配備し、女性の視点から避難所運営ができる体制づくりを行う。男女共同参画の観点から、防災会議の女性委員の割合を増やし、性別と性の多様性を考慮した地域防災計画の修正を行うことが課題である。	地域防災計画等では性別と性の多様性を考慮し、避難所設備の見直し、生理用品や授乳スペースの整備、ジェンダー感度の高い避難所運営を実施できるよう先行事例等を調査研究する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	防災会議の委員において、新たに2名女性委員が増加した。(女性人数比・42人中5人)	危機管理課
64	64	【新規】防災対策における男女共同参画の意識啓発	市民や市職員に対して、防災対策における男女共同参画や性の多様性についての意識啓発を図ります。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	市民や職員への意識づけについて、自主防災組織リーダー研修会や、総合防災訓練を実施し、意識啓発を行った。	引き続き、訓練等を通じて、防災の取り組みにおける男女共同参画や性の多様性の重要性について、啓発していく必要がある。	訓練や研修会等の機会を活用し女性視点や性の多様性に関して、令和6年能登地震の本市派遣職員の報告を活用し避難所運営の課題点を踏まえ意識啓発を行う。	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	令和5年度習志野市総合防災訓練にて、(一社)千葉県助産師会と連携し、初めて「母子避難訓練」を実施した。	危機管理課

基本目標	Ⅲ多様な働き方、生き方を認め合い、仕事と生活が調和した環境づくり
課題	1 働く場における男女共同参画の促進
施策の方向	①雇用の分野における男女の機会均等、待遇改善の促進

No.	事業コード	事業名	事業内容	R5管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度						担当課
					令和5年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度 の貢献度	令和3年度 の貢献度	令和4年度 の貢献度	中間評価	令和5年度 の貢献度	評価の理由	
65	65-1	雇用分野における法律などに関する情報の提供	関係機関と連携して、「労働基準法」や「男女雇用機会均等法」、「労働者派遣法」等の雇用分野の法律や制度の周知に努めます。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	・千葉県内の最低賃金が改正されたことについて市ホームページ、広報紙にて周知を行った。 ・船橋公共職業安定所より依頼を受け、公的職業訓練の制度周知を広報紙にて行った。 ・千葉県労働委員会より依頼を受け、個別労働紛争処理制度の周知を市ホームページと広報紙にて行った。 ・令和5年11月に実施した労働講演会において、商工会議所や労働団体との広報協力により、多くの参加人数を集客し、男女共同参画センターにて作成している女性活躍推進法に基づく認定制度に関するリーフレットを配架し、制度周知に努めた。	特になし	次年度においても、今年度と同様の取り組みを実施する。	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	・昨年度と比較して、男女共同参画センターと協力して制度周知が行えた。	産業振興課
65	65-2	雇用分野における法律などに関する情報の提供	関係機関と連携して、「労働基準法」や「男女雇用機会均等法」、「労働者派遣法」等の雇用分野の法律や制度の周知に努めます。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	情報紙「きらきら」第56号にて、育児休業を取得した男性を取材し、制度の周知を行った。	引き続き、関係機関と連携して、雇用分野における法律などに関する情報提供を行う必要がある。	関係機関と連携して、雇用分野における法律などに関する情報提供を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	B:あまり貢献できなかった	関係機関と連携を図ることはできなかったが、制度周知は行うことができた。	多様性社会推進課(旧:男女共同参画センター)

基本目標	Ⅲ多様な働き方、生き方を認め合い、仕事と生活が調和した環境づくり
課題	1 働く場における男女共同参画の促進
施策の方向	②農業従事者、自営業等における男女共同参画の促進

No.	事業コード	事業名	事業内容	R5管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度						担当課
					令和5年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度 の貢献度	令和3年度 の貢献度	令和4年度 の貢献度	中間評価	令和5年度 の貢献度	評価の理由	
66	66	農業従事者における家族経営協定締結の推進	家族で農業経営に携わる各世帯員が、経営方針や役割分担、家族みんなが働きやすい就業環境などについて家族間で取り決める「家族経営協定」の締結を推進します。	【管理指標項目】 農業従事者における家族経営協定締結数  【目標値】 現計画中に14戸  【5年度実績】 13戸	令和5年度中に新たに家族経営協定を締結した農業従事者はいなかったため、家族経営協定締結数は変わらず合計13戸に留まった。	引き続き制度の周知が必要である。	引き続き農業者の会議等において制度周知を行う。	C:貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	C:貢献できなかった	令和5年度中に新たに家族経営協定を締結した農業従事者はいなかったため、家族経営協定締結数は変わらず合計13戸に留まった。	産業振興課
67	67	【女性活躍】 農業従事者などにおける男女の経営参画の啓発	家族経営を基本としている農業従事者などにおいて、男女が対等に経営に参画しやすい環境づくりを進めます。	【管理指標項目】 農業従事者などに対する男女の経営参画についての研修、啓発の回数  【目標値】 年1回以上  【5年度実績】 1回	家族経営を行う農家世帯に対し、家族経営協定内容の確認を行い、見直しを勧めるとともに、女性の経営参画について改めて説明、周知した。	引き続き周知が必要	引き続き女性の経営参画の周知を行っていく。	C:貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	家族経営を行う農家世帯に対し、家族経営協定内容の確認を行い、見直しを勧めるとともに、女性の経営参画について改めて説明、周知した。	産業振興課

基本目標	Ⅲ多様な働き方、生き方を認め合い、仕事と生活が調和した環境づくり
課題	1 働く場における男女共同参画の促進
施策の方向	③女性の起業、再チャレンジ支援

No.	事業コード	事業名	事業内容	R5管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度						担当課
					令和5年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度 の貢献度	令和3年度 の貢献度	令和4年度 の貢献度	中間評価	令和5年度 の貢献度	評価の理由	
68	68	【女性活躍】 職業能力・技術を習得する学習情報の提供	就労セミナーの開催、就労相談・就労情報の提供を行います。	【管理指標項目】 就労を支援するセミナー等の女性参加者数  【目標値】 10人以上  【5年度実績】 内訳(個別相談人数除く) 習志野市 43名 浦安市 15名 船橋市 28名	千葉県ジョブサポートセンター及び近隣5市(市川市、八千代市、鎌ヶ谷市、浦安市、船橋市)と共催で女性向け再就職支援セミナーを実施した。 また、セミナー終了後、就職するまでの生活に関する全般的な相談を受ける機会として、個別相談会を実施した。 なお、本市主催のセミナーについて、昨年度は設置できなかった託児室を、今年度は設置できた。  主催幹事市： 習志野市、浦安市、船橋市	特になし	次年度においても、引き続き女性向けのセミナーを実施する。 引き続き多様性社会推進課と共同でセミナー実施の周知活動に取り組む。	A:貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	広報、市ホームページ等周知を図り、本市主催のセミナーを着実に実施することができた。 昨年度は、予算の都合上、託児室を用意できなかったが、今年度は予算措置を行い、託児室を配備することで、参加者の利便性を図ることができた。	産業振興課
69	69	【女性活躍】 創業に関する情報提供	市内で、創業・開業しようとする市民に対する資金融資などに関する情報の提供を行います。	【管理指標項目】  【目標値】  【5年度実績】	商工会議所にて創業に関する窓口を設置し、創業に関する相談を随時受け付けた。 産業振興課の窓口に来庁した方に対しては、産業振興課にて作成したリーフレットを用いて、習志野市中小企業資金融資制度の案内を随時行った。 創業に関するイベントやセミナー開催時に、男女共同参画センターにもチラシの配架を依頼した。	特になし。	引き続き、創業しようと考えている市民に対して、資金融資等に関する情報の提供を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	習志野商工会議所と連携を図り、創業塾についての運営を行った。 男女共同参画センターと協力し、情報提供を行った。	産業振興課
70	70	【女性活躍】 創業を支援する講演会などの開催	商工会議所などと連携し、創業に関する相談窓口の設置や講演会、創業塾などを開催し、市内での創業を支援します。	【管理指標項目】 創業を支援するセミナー等の女性参加者数  【目標値】 5人以上  【5年度実績】 27人 ①ならしの創業塾 女性11人 ②大学生向け創業イベント 女性1人 ③創業スクール 上期 会場 習志野市 女性15人	・商工会議所に創業に関する窓口を設置し、創業に関する相談を随時受け付けた。 ・創業をサポートするため、「ならしの創業塾」の開催や千葉県信用保証協会の「創業スクール」を本市を会場として実施した。 ・大学生向けに創業に関する知識の普及、啓発を目的としてイベントを実施し、学生の創業機運の醸成を図った。  ・市主催 ならしの創業塾 講義等6回(年1回)、大学生向け創業イベント(年1回) ・千葉県信用保証協会主催、共催習志野市 創業スクール 講義等4回(年2回)	大学生向けのイベントについて、事業の実施時期と卒業研究などの時期が被らないよう、改善が必要である。	引き続き、創業に対する支援を行い、市内における創業の促進、支援を継続的に実施する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	習志野商工会議所、千葉県信用保証協会と連携を図り、事業を実施することができた。	産業振興課



基本目標	Ⅲ多様な働き方、生き方を認め合い、仕事と生活が調和した環境づくり
課題	1 働く場における男女共同参画の促進
施策の方向	③女性の起業、再チャレンジ支援

No.	事業コード	事業名	事業内容	R5管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度					担当課	
					令和5年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	令和5年度の貢献度		評価の理由
71	71	【新規】【女性活躍】 就労や再就職に関する情報提供	ふるさとハローワーク等と連携し、就労や再就職に関する情報の提供を行います。	【管理指標項目】  【目標値】  【5年度実績】	国と共同で設置している「ふるさとハローワーク」および国と船橋市が共同で事業を実施している「ふなばし地域若者サポートステーション事業」に参画し、若年無業者の職業的自立を促すことを目的として、就労や再就職に関する情報提供を行った。 本市と近隣市、千葉県ジョブサポートセンターが実施している再就職支援セミナーについて、男女共同参画センター、ふるさとハローワーク、ハローワーク船橋に依頼し、チラシを配架した。 ふなばし地域若者サポートステーションが実施している、若年者向けの企業説明会である「合同就職フェア」について、市ホームページに留まらず、市内公共施設やふるさとハローワークにチラシを配架した。	特になし。	引き続き、ふるさとハローワーク等と連携し、就労や再就職を求めている方に対し、情報提供を実施するとともに、ふなばし地域若者サポートステーション事業に参画し、働くことに悩みを抱えている若年者等の就労支援を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	ふるさとハローワークやふなばし地域若者サポートステーション等の関係機関と連携し、着実に事業を実施できている。	産業振興課
72	72	【女性活躍】 再チャレンジ支援講座の実施	就労を支援する講座などを実施します。	【管理指標項目】 女性のための再チャレンジ支援講座の開催回数  【目標値】 年1回  【5年度実績】 年2回	・令和5年10月「女性のためのExcel基礎講座」を開催。令和4年4月に決定した女性デジタル人材育成プランに基づき、仕事に生かすためのエクセルの基礎について学習を行った。 ・上記開催にあたり、定員を大きく上回る募集があったことから、令和6年2月に同講座を追加開催した。	これまで、就労にむけて意欲と能力のある女性が活躍できる社会をめざし、再就職、起業、自己啓発等を希望する女性の意識を高めることを目的として開催してきたが、今年度は実践形式による学習を行った。今後、受講者のニーズを把握し、就労支援に向けた講座を開催していく必要がある。	引き続き、デジタル人材育成と就労支援を目的とした講座を開催していく。	D:事業を実施できなかった	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	女性が活躍できる社会をめざし、就労を支援する講座を実施。令和6年4月に決定した女性デジタル人材育成プランに基づく講座とし、多様な働き方への支援につながった。	多様性社会推進課(旧：男女共同参画センター)

基本目標	Ⅲ多様な働き方、生き方を認め合い、仕事と生活が調和した環境づくり
課題	2 ワーク・ライフ・バランスの推進
施策の方向	①働く場におけるワーク・ライフ・バランスの促進《重点施策》

No.	事業コード	事業名	事業内容	R5管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度						担当課
					令和5年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度 の貢献度	令和3年度 の貢献度	令和4年度 の貢献度	中間評価	令和5年度 の貢献度	評価の理由	
73	73-1	【女性活躍】 ワーク・ライフ・バランスの意識啓発	関係部署と連携し、働き方を見直し、積極的にワーク・ライフ・バランスに取り組む市民を増やします。(市民)	【管理指標項目】 市民に対するワーク・ライフ・バランスに関する啓発などの回数  【目標値】 年1回  【5年度実績】 実施なし	今年度市民への啓発機会は設けることができなかったが、次年度に市制施行70周年記念の冠事業として「ワーク・ライフ・バランスの推進」をテーマとした講演会を産業振興課と共同で開催することを決定。習志野商工会議所とも連携して取り組む予定。市と男女共同参画推進団体を構成員とする運営委員会を4回開催した。	様々な手法で継続的に意識啓発を行っていく必要がある。	男女共同参画週間事業講演会にてワーク・ライフ・バランスをテーマとした講演会を開催するよう調整している。	B:あまり貢献できなかった	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	A:貢献できた	今年度市民への啓発機会は設けることができなかったが、次年度の「ワーク・ライフ・バランスの推進」をテーマとした講演会に向けた具体的な取組を行った。	多様性社会推進課(旧:男女共同参画センター)
73	73-2	【女性活躍】 ワーク・ライフ・バランスの意識啓発	働き方を見直し、積極的にワーク・ライフ・バランスに取り組む事業所が増えるよう、関係部署と連携し、必要な働きかけを行っていきます。(事業所)	【管理指標項目】 市内事業所に対するワーク・ライフ・バランスに関する啓発などの回数  【目標値】 年1回  【5年度実績】 広報ならしのへの掲載 年4回 ①4月15日号 ②8月15日号 ③10月1日号 ④2月15日号	事業所に対し、ワーク・ライフ・バランスに取り組む事業者が増えるよう、年次有給休暇制度の計画的な取得促進を促すことを目的に、広報習志野、市ホームページにて周知を行った。 令和6年度に、ワーク・ライフ・バランスをテーマとした講演会を実施するため、男女共同参画センターと協力して、企画検討を進めた。 ①令和5年4月15日号 休暇で春を楽しんで、ココロとカラダをリフレッシュ！ ②令和5年8月15日号 事業主の皆様へ(自分らしい夏休みで素敵な体験をたくさんしよう) ③令和5年10月1日号 10月は「年次有給休暇取得促進期間」です。 ④令和6年2月15日号 事業主の皆さんへ 年次有給休暇の「計画的付与制度」の導入を	講演会の成功に向けて、関係機関と細かな調整を行うことが、今後の課題であると考えている。	市制施行70周年の冠事業として、講演会を多様性社会推進課と共催する。	A:貢献できた	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	広報習志野、市ホームページへの掲載を漏れなく行ったことに加え、男女共同参画センターと協力を行い、事業の実施に向けて、企画や調整が行えている。	産業振興課
73	73-3	【女性活躍】 ワーク・ライフ・バランスの意識啓発	職員の時間外勤務の削減や、男性の育児休暇などの取得促進を図るとともに、働き方の見直しに取り組みます。また、市職員へのワーク・ライフ・バランスの意識啓発に取り組みます。(市職員)	【管理指標項目】 市職員に対するワーク・ライフ・バランス研修の実施回数  【目標値】 年1回  【5年度実績】 年2回	・時間外勤務の縮減などを含めたワーク・ライフ・バランスを実現するため、働き方改革の一環として、時差出勤の導入及びテレワークの実証実験を実施した。 ・2～3級職員を対象としたキャリアデザイン研修等においてワークライフバランスに関する講義を実施した。(令和5年8月22日実施)	窓口や相談業務など業務の性質上、テレワークの導入が難しい部局が多く、導入が一部の部局に留まっている状況である。	実証結果を踏まえて、令和6年度にテレワークの本格導入を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	・課題に記載したように業務の性質上、テレワークの導入が難しい部局が多く、利用者は増えなかったものの、職員の多様な働き方を可能とするものであり、一定の効果はあった。 ・時差出勤は、各所属長による承認になるため、利用実績について詳細には把握していないが、職員が勤務時間を選択できるようになり、多様な働き方が可能となった。	人事課
74	74	【女性活躍】 パラレルキャリアに関する講座の実施	本業以外の社会貢献活動などへとつながる講座を開催し、参加者同士の交流を図りながら、パラレルキャリアを有するいきいきと働く人を増やします。	【管理指標項目】  【目標値】  【5年度実績】	令和5年9月にパラレルキャリア講座「好き×得意 未来を輝かせるパラレルキャリア」を開催。自分自身のパラレルキャリアの探索方法について学習した。	多様な生き方・働き方に向け、本業以外の社会貢献活動などへとつながる講座を開催する必要がある。	引き続き、本業以外の社会貢献活動などへとつながる講座を開催する。	D:事業を実施できなかった	S:大いに貢献できた	C:貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	S:大いに貢献できた	多様な生き方・働き方に向け、本業以外の社会貢献活動などへとつながる講座を開催した。	多様性社会推進課(旧:男女共同参画センター)

基本目標	Ⅲ多様な働き方、生き方を認め合い、仕事と生活が調和した環境づくり
課題	2 ワーク・ライフ・バランスの推進
施策の方向	①働く場におけるワーク・ライフ・バランスの促進《重点施策》

No.	事業コード	事業名	事業内容	R5管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度						担当課
					令和5年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	令和5年度の貢献度	評価の理由	
75	75	【女性活躍】仕事と子育ての両立に関する制度の周知	市内事業所における仕事と子育てが両立できる職場環境づくりに関する啓発を行います。	【管理指標項目】  【目標値】  【5年度実績】	【再掲】習志野市子育て支援先端企業認証制度について、市ホームページへ掲載するとともに、男女共同参画センターが発行している制度周知を図る冊子を窓口に設置し、新規事業者登録の周知を図ったものの、新規登録申請はなかった。	【再掲】千葉県の「”社員いきいき！元気な会社”宣言」など類似の事業もある中、事業者にとって認証に係るメリットが少なく、近年新たな新規登録申請はない状態が続いている。	【再掲】引き続き、習志野市子育て支援先端企業認証制度をさらに周知するため、市ホームページの更新や商工会議所・青年会議所などにも周知する等、新規認証事業者の参入を図るとともに、制度の見直しを検討する。	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	新規登録事業者がなかった	こども政策課

基本目標	Ⅲ多様な働き方、生き方を認め合い、仕事と生活が調和した環境づくり
課題	2 ワーク・ライフ・バランスの促進
施策の方向	②固定的な性別役割分担意識の見直しの促進

No.	事業コード	事業名	事業内容	R5管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度						担当課
					令和5年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度 の貢献度	令和3年度 の貢献度	令和4年度 の貢献度	中間評価	令和5年度 の貢献度	評価の理由	
76	76-1	【女性活躍】 固定的な性別役割 分担意識を見直す 講座などの実施	家庭内の男女共同参画を推進 するため、固定的な性別役割分 担意識を見直す講座などを実施 します。	【管理指標項目】 固定的な性別役割 分担意識を見直す 講座などの実施回数  【目標値】 年1回以上  【5年度実績】 年1回	情報紙「きらきら」第56号にて、 男性の育児休暇と家事参画につ いて取り上げ、固定的な性別役 割分担意識を見直す記事を作 成。市内幼稚園、保育園、小学 校、中学校へ配布し、幼児・児童 等を通じて、広く周知を行った。	性別、年齢に関係なく参加しやすい環境整備に ついて手法を検討する。	手法を検討しつつ、シニア世代の家 事参画や父親の育児参画など、性別 役割分担意識の見直しにつながる啓 発の取り組みを行う。	B:あまり貢 献 でき ない かった	S:大いに貢 献できた	S:大いに貢 献できた	S:大いに貢 献できた	S:大いに貢 献できた	男性の育児休暇と家事参画について 取り上げ、固定的な性別役割分担意 識を見直す記事を作成した。市内幼 稚園、保育園、小学校、中学校へ配 布し、幼児・児童等を通じて、広く周 知を行った。	多様性社会 推進課(旧: 男女共同参 画センター)
76	76-2	【女性活躍】 固定的な性別役割 分担意識を見直す 講座などの実施	家庭内の男女共同参画を推進 するため、固定的な性別役割分 担意識を見直す講座などを実施 します。	【管理指標項目】 固定的な性別役割 分担意識を見直す 講座などの実施回数  【目標値】 各公民館で年1回以 上  【5年度実績】 各公民館で年1回以 上 全公民館延べ91 回実施うち男性参加 41回	・全公民館、幼児家庭教育学級 において、父親の参加を促すた め、参加しやすい土曜・日曜に1 回講座を実施した。 ・土曜・日曜に親子で参加する講 座を実施し、父親の参加を促し た。 (参考) ・幼児家庭教育学級 ・育児講座 ・PTA家庭教育学級	・父母ともに参加を促すため、参加しやすい日程 を設定しているところだが、父親の参加が少ない。 ・男性が育児、家事等に参加できるよう学習する 講座の開催の検討。	・引き続き、父親に参加してもらえる 講座を企画する。 ・家庭内での男女共同参画推進を図 り、固定的な性別役割分担を見直す ため家庭教育講座の内容の充実を 図り開催をする。また、男性が参加し やすい講座の実施を図る。	D:事業を実 施 でき ない かった	B:あまり貢 献 でき ない かった	A:貢 献 でき た	A:貢 献 でき た	A:貢 献 でき た	・幼児家庭教育学級において、父親 の参加を促すため、参加しやすい土 曜・日曜に1回講座を実施した。	公民館
77	77	「ママ・パパになるた めの学級」の充実	安心して妊娠・出産・子育てに 臨めるように、知識や技術を提供 するとともに、両親が共に子 育てを担っていけるように支援 します。	【管理指標項目】  【目標値】  【5年度実績】	妊娠期に2回(集合型1回、オンラ イン1回)で実施。 参加数(延) 妊婦 354人 パートナー 274人	講義や体験だけでなく、妊娠期からの仲間づくり の視点が必要。 育児休暇を取得する男性も多く、パートナーシッ プについて、男性側のサポートも含めた内容の ニーズがある。	参加者を地域ごとにグループ化し、 グループワーク等を通じた仲間づくり の場を提供。パートナーシップについ ては、講義、ワークを内容に追加す る。	D:事業を実 施 でき ない かった	A:貢 献 でき た	A:貢 献 でき た	A:貢 献 でき た	A:貢 献 でき た	妊婦、パートナーともに昨年度に比 べて参加者数が1.6倍増加した。 初妊婦の半数ほどに対して妊娠期の 支援を実施できていると考えられる。	健康支援課
78	78-1	男女共同参画の視 点を含めた啓発紙・ パンフレット等の発 行	子育てや介護などに関するパン フレット・チラシ等の作成に際し、 男女共同参画の視点を含め た紙面づくりを行います。	【管理指標項目】  【目標値】  【5年度実績】	出生や転入に係る手続きをされる 保護者を対象に配布している 子育てハンドブックや孫育てハン ドブックの作成にあたり、男女共 同参画の視点に立った子育て支 援につながるよう、紙面づくりに 配慮した。	作成した冊子について、広く手に取ってもらえ るよう周知を進めていく必要がある。	パンフレット・チラシ等の作成に際し、 内容やイラスト等を確認し、男女共同 参画の視点を含めた紙面づくりを 行っていく。	A:貢 献 でき た	A:貢 献 でき た	A:貢 献 でき た	A:貢 献 でき た	A:貢 献 でき た	男女共同参画の視点を含めた紙面 づくりに努めた。	子育て支援 課
78	78-2	男女共同参画の視 点を含めた啓発紙・ パンフレット等の発 行	子育てや介護に関するパンフ レット・チラシ等の作成に際し、 男女共同参画の視点を含めた 紙面づくりを行います。	【管理指標項目】  【目標値】  【5年度実績】	被保険者証交付時のリーフレット の送付、制度周知用パンフレット 作成と配布、広報への掲載等、 制度理解のための啓発を行っ た。	特になし	介護制度について認識してもらえ るよう、引き続き同様の啓発を行う。	A:貢 献 でき た	A:貢 献 でき た	A:貢 献 でき た	A:貢 献 でき た	A:貢 献 でき た	パンフレットの配布等により、介護が 必要な方の家族や周囲の方のみで なく、今後必要となる方についても制 度の周知が図られた。広く周知を図 ることにより、介護負担が特定の家 族に偏ることなく社会全体で支える意 識を広めることができた。	介護保険課
79	79	父親の子育て参画 を意識した情報提供	保育所・幼稚園・こども園の事 業実施において、父親の子育て 参画を促す情報の提供を行いま す。	【管理指標項目】  【目標値】  【5年度実績】	園(所)での様子や行事等につい て、掲示物や手紙、保護者連絡 アプリによって、写真を載せなが ら伝えてきた。	掲示物や手紙、保護者連絡アプリに写真 を掲載することで、送迎ができない保護者にも、情報を 見てもらうことができた。掲示物と同じ内容をア プリで共有したり、即日写真を見てもらえるようにア プリへの掲載が必要である。	保護者連絡アプリを活用し、写真や 情報の提供を増やしていく。	B:あまり貢 献 でき ない かった	B:あまり貢 献 でき ない かった	A:貢 献 でき た	A:貢 献 でき た	A:貢 献 でき た	行事への父親の参加が増え、教育・ 保育、子育てへの興味が高まったと 思われる。	こども保育課

基本目標	Ⅲ多様な働き方、生き方を認め合い、仕事と生活が調和した環境づくり
課題	2 ワーク・ライフ・バランスの推進
施策の方向	③家庭生活と社会生活の両立に向けた子育て支援・介護支援《重点施策》

No.	事業コード	事業名	事業内容	R5管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度						担当課
					令和5年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度 の貢献度	令和3年度 の貢献度	令和4年度 の貢献度	中間評価	令和5年度 の貢献度	評価の理由	
80	80	男女が参加できる地域開放の充実	保育所所庭開放や幼稚園の子育てふれあい広場について、実施内容の充実を図ります。	【管理指標項目】 保育所所庭開放日数 【目標値】 現計画中に各施設週2回以上 【5年度実績】 各施設月2回以上実施(大久保第二保育所以外)	子育てふれあい広場は予約制ではなく、誰でも参加できるようにした。また、在園との触れ合いも再開した。 所庭開放は、各施設の状況に合わせ、月2回以上、多い施設では週2回行った。	引き続き男性職員も加わる体制を作り、男性が参加しやすい雰囲気を作ることが必要である。	子育てふれあい広場に男性職員も加わったり、男性職員がいる施設はアピールしたりして、男性も参加しやすい雰囲気づくりに努める。 全ての保育所において、週2回の所庭開放の実施に努める。	D:事業を実施できなかった	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	子育てふれあい広場や所庭開放の実施回数や参加可能人数を増やしていったことで、参加できる機会を増やすことにつながった。	こども保育課
81	81	多様な働き方を支援するための保育の拡充	保育所・こども園における時間外保育、産休明け保育、一時保育、預かり保育の実施内容などの拡充を図ります。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	長期休業中の預かり保育の実施、一時保育の利用者増について、実施日の設定や保育内容の拡充を図った。	一時保育の予約について、利用者が予約をしやすいシステムづくりが必要である。	一時保育の予約について、インターネットによる予約システムを作り、利用者の利便性を高められるよう努める。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	長期休業中の預かり保育の利用者が増え、ニーズに応じることができている。	こども保育課
82	82	病児・病後児保育の周知	市内の病児・病後児保育の周知を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	市内こども園や保育所に入所する児童の保護者に対して、病児・病後児保育施設のチラシを配布した。 病児・病後児保育施設の情報を広報に掲載した。	病児・病後児保育施設の利用がしやすくなるよう、利用方法の案内等を周知していく。	リーフレット・チラシの配布と併せて、病児・病後児保育施設の情報を広報に掲載する。 令和4年4月1日から休業しているキッズケアルームなどでしこについて、再開する際は改めて周知をしていく必要がある。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	保護者へのリーフレット及びチラシの配布や子育てハンドブック掲載、市民への広報や市ホームページ掲載等により、様々な方法で、事業の周知に努めた。	子育て支援課
83	83	ファミリー・サポート・センター事業などの充実	相互援助や組織の活用を行い、サービスメニューの拡大などや会員の確保を行うとともに、研修内容の充実を図ります。	【管理指標項目】 ファミリー・サポート・センター入会説明会の実施回数 【目標値】 定例会説明会38回、地域入会説明会4回、土・日入会説明会3回 【5年度実績】 定例会説明会42回、来庁入会説明53回、訪問入会説明7回	定例会説明会を行った。定例会説明会に来られない方については、個別に来庁・訪問入会説明で随時対応した。	定例会説明会に来られない方について、個別で来庁・訪問入会説明ができることの周知方法を検討する必要がある。	定例会説明会と併せて、来庁・訪問での入会説明を行う。研修会等を定期的に開催し、会員の知識や技術の向上等を図る。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	利用会員、提供会員を対象とした研修会等を定期的に開催し、会員の知識や技術の向上等を図った。	子育て支援課

基本目標	Ⅲ多様な働き方、生き方を認め合い、仕事と生活が調和した環境づくり
課題	2 ワーク・ライフ・バランスの推進
施策の方向	③家庭生活と社会生活の両立に向けた子育て支援・介護支援《重点施策》

No.	事業コード	事業名	事業内容	R5管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度						担当課
					令和5年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度 の貢献度	令和3年度 の貢献度	令和4年度 の貢献度	中間評価	令和5年度 の貢献度	評価の理由	
84	84	保育所についての 情報提供の充実	働きやすい環境づくりのため、 保育所入所に関する情報の提 供に努めます。	【管理指標項目】  【目標値】  【5年度実績】	・昨年度に引き続き、「広報習志 野」及び市ホームページに保育 所等入所募集記事を掲載し、市 ホームページにおいて月ごとの 施設別・年齢別空き状況を掲載 した。また、4月募集の申込み状 況（申込者、承諾者、不承諾者）、入所選考の基準早見表及 び同点審査表、各施設の年齢ご との承諾者数及び承諾者の最低 点数を市ホームページにおいて 公表した。 ・LINEを利用し、4月の保育所等 申込案内、方法、入所選考の結果等、各月の施設別・年齢別空 き状況について配信を行った。ま た、4月の保育所等の窓口での 申込受付について、LINE等を活 用して予約受付を行った。 ・ビタリサービスによる電子申 請受付を開始した。	毎月の選考結果について、公表を検討する。	・令和5年度に引き続き、「広報習志 野」及び市ホームページへ募集記事 を掲載し、市ホームページにおいて 月ごとの施設別・年齢別の空き状況 を掲載する。また、4月募集の申込み 状況（申込者、承諾者、不承諾者）や 入所選考の同点審査表、各施設の 年齢ごとに承諾者の最低点数を市 ホームページにおいて公表する。 ・LINEを利用し、4月の保育所等申 込案内、方法、入所選考の結果等、 各月の施設別・年齢別空き状況につ いて配信を行う。また、4月の保育所 等の窓口での申込受付について、LI NE等を活用して予約受付を行う。 ・ビタリサービスによる電子申請受 付を行う。	A:貢献でき た	A:貢献でき た	A:貢献でき た	A:貢献でき た	A:貢献でき た	こども保育課窓口をはじめ、広報習 志野、市ホームページにて保育所等 入所募集記事を掲載するとともに、 市ホームページにおいて4月募集の 申し込み状況、選考結果、各月の空 き状況を掲載した。また、LINEを活用 した情報提供及び4月の保育所等の 窓口での申込受付予約を行う他、 ビタリサービスによる電子申請受付 を開始した。 また、保育所等の一覧に施設の特色 などを掲載するとともに、各保育所等 にホームページの充実を依頼し、情 報提供に努めた。	こども保育課
85	85-1	子育て支援拠点で の男性の参画促進	子育て支援拠点施設の土、日 の開所などにより平日利用でき ない家庭も利用しやすい施設づ くりを行います。	【管理指標項目】  【目標値】  【5年度実績】	習志野市こどもセンター（鷺沼） については土曜日、きらっ子 ルームやつでは土曜日、日曜日 に開所し、平日に利用できない 父親や共働き家庭等の利用増 加に努めた。	今後も、こどもセンター（鷺沼）は土曜日に開所し、きらっ子ルームやつは土曜日と日曜日に開所し、平日に利用できない父親等の利用促進を図っていく。	今後も、習志野市こどもセンター（鷺沼）は土曜日に開所し、きらっ子ルームやつは土曜日と日曜日に開所し、平日に利用できない父親等の利用促進を図っていく。	A:貢献でき た	A:貢献でき た	A:貢献でき た	A:貢献でき た	A:貢献でき た	・土曜日、日曜日を開所することにより、平日に利用できない父親や共働 き家庭等の利用促進に努めた。 ・窓口に手続きに来た際には、施設 の説明を行い、利用促進に努めた。	子育て支援課
85	85-2	子育て支援拠点で の男性の参画促進	子育て支援拠点施設の土、日 の開所などにより平日利用でき ない家庭も利用しやすい施設づ くりを行います。	【管理指標項目】  【目標値】  【5年度実績】	土曜日通常開所し、父親も参 加しやすい雰囲気づくりに努め た。また、参加人数の制限を撤 廃したことで、父親の利用や夫 婦での利用が増えた。	引き続き、父親の参加を促すような企画や雰囲気づくりに努めることが課題である。	土曜日に父親参加イベント等を企画するとともに、平日のこどもセンターでも、父親が利用しやすい雰囲気づくりを行う。	A:貢献でき た	A:貢献でき た	A:貢献でき た	A:貢献でき た	A:貢献でき た	フロアで職員が対応する中で、父 親とも意図的に関わり、雰囲気づく りに努めたことで、繰り返し利用する父 親の姿が見られるようになった。	こども保育課
86	86	地域で支える子育て の機運の充実	地域ぐるみの子育て支援体制を 推進するため、関係機関との連 携を図ります。	【管理指標項目】  【目標値】  【5年度実績】	きらっ子こどもまつりを開催した。 『ならしの孫育てハンドブック』を 配布し、子どもが健やかに成長 することができる環境づくりに努 めた。	・今後も、地域ぐるみの子育て支援体制の推進のため、継続的にこどもセンター（鷺沼）において地元町会、社会福祉協議会や子育て支援団体と協議し、事業等を実施する。 ・『ならしの孫育てハンドブック』を増刷し子どもが健やかに成長することができる環境づくりに努める。	各種イベント等を実施する。 『ならしの孫育てハンドブック』の配布を行う。	B:あまり貢 献できな かった	B:あまり貢 献できな かった	A:貢献でき た	A:貢献でき た	A:貢献でき た	・きらっ子こどもまつりを2年ぶりに開 催することができ、地域交流のきっか けとなった。 ・『ならしの孫育てハンドブック』を継 続して配布した。	子育て支援課
87	87	放課後児童会の充 実	放課後児童会の施設整備を図 り、充実した運営の提供に努 め、安心して働くことができる環 境づくりに取り組みます。また、 支援員に対し、男女共同参画に 関する研修を実施します。	【管理指標項目】  【目標値】  【5年度実績】	・放課後児童会の施設整備を図り、令和4年8月1日時点で待機児童ゼロを達成してから、令和5年度は待機児童ゼロを維持することができた。また、職員不足の解消を目的とした民間業務委託を進めた。 ・男女共同参画の理解を深めるため、男女共同参画センター職員に講師を依頼し、放課後児童会職員研修を実施した。	・働く保護者の仕事と子育ての両立支援を目指し、児童会の施設整備と運営業務委託に取り組んだ結果、児童会施設の充実と待機児童ゼロを維持している。しかしながら、小学4年生以上の放課後児童会への入会希望が増加しているため、施設整備や委託化など、今後の児童会の運営のあり方について検討が必要である。 ・児童会の職員不足は解消されていない。 ・男女共同参画の理念やジェンダーに関する理解を深めるため、また多様化する社会へ対応していくために定期的な研修や指導が必要である。	・待機児童ゼロを維持するため、引き続き職員の雇用並びに施設整備及び運営業務委託等の検討をする。 ・多様化する社会の中で、影響を受けやすい小学生の時期において、児童と育成支援及び家庭環境の支援が求められているなか、それに応じた職員の経験やスキルアップの必要がある。	A:貢献でき た	A:貢献でき た	A:貢献でき た	A:貢献でき た	A:貢献でき た	児童会の施設整備と運営業務委託 に取り組んだ結果、児童会施設の充 実と待機児童ゼロを維持することが できた。	児童育成課

基本目標	Ⅲ多様な働き方、生き方を認め合い、仕事と生活が調和した環境づくり
課題	2 ワーク・ライフ・バランスの推進
施策の方向	③家庭生活と社会生活の両立に向けた子育て支援・介護支援《重点施策》

No.	事業コード	事業名	事業内容	R5管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度						担当課
					令和5年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度 の貢献度	令和3年度 の貢献度	令和4年度 の貢献度	中間評価	令和5年度 の貢献度	評価の理由	
88	88	子育て支援相談の充実	こどもセンター、きらっ子ルームの周知を行うとともに、子育てに関する情報提供を行い、安心して子育てできるよう、個々の家庭に応じた支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	習志野市こどもセンター(鷺沼)、きらっ子ルームやつの利用者に 対し、利用者と直接コミュニケーションをとる中で子育てに関する情報の提供を行うとともに、利用者個々の子育てに関する相談に随時対応した。 こども部窓口の子育て支援コンシェルジュの職員が各施設に訪問し相談を行う「出張コンシェルジュ」を定期的に行い、相談体制の強化に努める。	・こどもセンター(鷺沼)、きらっ子ルームやつの利用を促進していくとともに、子育て支援コンシェルジュ(利用者支援事業)についても周知を図る。 ・こどもセンターに新規配属される職員について養成講座を実施するとともに、事業運営の円滑化、各施設との情報共有に努める。 ・引き続き「出張コンシェルジュ」を定期的に行い、相談体制の強化に努める。	・こどもセンター(鷺沼)、きらっ子ルームやつの利用を促進していくとともに、子育て支援コンシェルジュ(利用者支援事業)についても周知を図る。 ・こどもセンターに新規配属される職員について養成講座を実施するとともに、事業運営の円滑化、各施設との情報共有に努める。 ・引き続き「出張コンシェルジュ」を定期的に行い、相談体制の強化に努める。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	・習志野市こどもセンター(鷺沼)、きらっ子ルームやつにおいて、子育てに関する情報の提供を行うとともに、利用者個々の子育てに関する相談に随時対応した。 ・こども部窓口にも子育て支援コンシェルジュを配置し、子育てに関する相談・情報提供、相談支援の体制を強化した。 ・子育て支援コンシェルジュ養成講座を実施し、男女共同参画についての研修を行った。	子育て支援課
89	89	乳幼児に対する健康相談などの充実	乳幼児の健康相談などを通じて、子どもの発育・発達を確認するとともに、生活習慣や生活リズム等の子育てについての相談に応じ、子育てへの不安を軽減し、より良い親子関係が形成できるよう支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	4か月児健康相談では、参加者同士の自己紹介の場を設けたり、交流を促すよう働きかけた。10か月児健康相談は、Webアンケートでの実施とし、ハイリスク者や未回答者には個別に対応した。	コロナ禍を経て、孤立感を抱きながら子育てに取り組んでいる母子が多く、育児不安や経験不足等の課題が出てきている。健康相談の内容をどう充実させ、支援していくかの検討が必要。	引き続き、乳幼児の健康相談を通じて、子育てへの不安を軽減し、安定した家族関係の中で育児ができるよう支援する。また、10か月児健康相談を集合開催し、地域資源へつなげていくよう支援する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	健康相談の場で、子どもの発育、発達を確認し、必要な支援を行いました。また父母で相談に来所するケースもあり、父母の育児不安に対し、相談、支援した。	健康支援課
90	90	保健福祉サービスの充実、介護予防の推進	介護予防に関する事業や市民同士の支え合い活動などについての情報を高齢者にも十分提供し、これらの活動に男女が互いの特性を生かしあって参加できるよう支援します。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	介護予防教室として、運動器の機能向上教室と認知症予防教室を実施し、活動性の維持・向上への支援をした。運動器の機能向上教室では新コースを設立し前期高齢者および運動能力の高い者の参加を促した。	介護予防の内容の充実とあわせて、より多くの高齢者が参加できる機会の確保が必要。	介護予防教室参加後も運動継続できるよう、地域の「通いの場」の情報提供をしていく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	介護予防や「通いの場」、市民同士の支え合い活動について情報提供を行うことができた。	健康支援課
91	91	介護保険制度の内容理解に向けた啓発	「介護保険制度」について、性別にかかわらず、家族の負担軽減につながるよう、制度の啓発に努めます。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	被保険者証交付時のリーフレットの送付、制度周知用パンフレット作成と配布、広報への掲載等、制度理解のための啓発を行った。	特になし	介護制度について認識してもらえるよう、引き続き同様の啓発を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	パンフレットの配布等により、介護が必要な方の家族や周囲の方のみでなく、今後必要となる方についても制度の周知が図られた。広く周知を図ることにより、介護負担が特定の家族に偏ることなく社会全体で支える意識を広めることができた。	介護保険課
92	92	介護者の支援体制の充実	市内5カ所の高齢者相談センター(地域包括支援センター)において、介護についての相談に対応し、必要な情報の提供を随時行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	市内5カ所の高齢者相談センター(地域包括支援センター)において、介護についての相談に対応し、必要な情報の提供を随時行った。各センターから機関紙の発行を行った。 家族の相談対応件数 6,903件(R6.3末現在)	各センターにおいて、個々に相談を受ける中で、家族構成や介護者の生活状況など総合的に判断することを心掛け、必要な情報の提供を行うことができている。	相談先としての認知度を上げるため、引き続き高齢者相談センターのパンフレットや機関誌の配布によりセンターの周知を図っていく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	各センターにおいて、個々に相談を受ける中で、家族構成や介護者の生活状況など総合的に判断することを心掛け、必要な情報の提供を行うことができている。センターの設置によりいつも対応できる体制となっている。	高齢者支援課

基本目標	Ⅳ心が通い合い、健康で安全に暮らせる環境づくり
課題	1 生涯にわたる健康維持への支援
施策の方向	① 生涯にわたる健康維持への情報提供と相談の充実

No.	事業コード	事業名	事業内容	R5管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度						担当課
					令和5年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度 の貢献度	令和3年度 の貢献度	令和4年度 の貢献度	中間評価	令和5年度 の貢献度	評価の理由	
93	93	年代や個々に応じた健康教育、健康相談の充実	年代や性別に応じた健康教育の実施や個々に応じたきめ細やかな相談に努めます。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	4か月児健康相談は集団で開催し、10か月児健康相談はWebで健康チェックアンケートを実施した他、個別で訪問、所内、電話相談を実施した。世代や性別等、対象者に合わせた情報提供を心がけ、健康教育や健康相談を行った。	コロナ禍で地区の母親同士の交流機会が少なくなったことで、育児不安、知識不足による事故や、逆にネットでの情報過多で心配を抱えるケースが見られている。	10か月児健康相談を集団で開催。個々に応じて丁寧に情報提供、相談に努める。まちづくり出前講座や公民館の講座等の機会を活用し、各年代や性別に応じた健康相談・健康教育を実施する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	個々の状況に応じ、必要な相談支援を提供できた。	健康支援課
94	94	健診(検診)に関する情報提供および受けやすい体制の整備	妊婦・乳幼児健診、成人の健康診査(がん検診など)の事業の充実、整備、情報の周知に努めます。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	対象となる(健診)検診と、その受け方について、通知・市ホームページ・広報・LINE配信等により、各対象者に届きやすい情報提供を行った。幼児健診では、予約システムを導入し、対象者が健診を受けやすいようにした。	各健診(検診)の対象者に届きやすい方法で、わかりやすい情報提供を継続的に行う必要がある。	次年度から乳児対象の事業を再開するため、乳児の保護者への検診周知の機会とする。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	未受診者勧奨通知においては世代毎に通知内容を見直すことにより、受診率の向上につながった。幼児健診のシステム導入により検診の予約や変更がスムーズに行えるようになり、利便性が向上した。	健康支援課
95	95-1	性感染症・エイズ予防と喫煙・飲酒・薬物乱用防止の啓発	地域保健では、対象に合わせた啓発活動を行います。学校では、県主催の研修への教職員の参加を促進するとともに、児童生徒に適切な指導を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	小・中学校と連携し、生活習慣病予防健康教育を行った。 実施校 中学校 6校 小学校 11校 対象者2,642人	引き続き、学校と連携して啓発する必要がある。	地域保健において、小中学校生活習慣病予防教育等、対象に合わせた普及啓発活動を行い、より多くの対象者へ健康教育が行えるよう、啓発方法を工夫していく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	学校ごとに直接事業内容を周知したことで実施校数、対象者ともに増加に転じた。	健康支援課
95	95-2	性感染症・エイズ予防と喫煙・飲酒・薬物乱用防止の啓発	地域保健では、対象に合わせた啓発活動を行います。学校では、県主催の研修への教職員の参加を促進するとともに、児童生徒に適切な指導を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	県主催の薬物乱用防止教育研修会への教職員の参加について依頼し、各校1名が必ず参加するよう促した。また各校に薬物乱用防止教室の実施を依頼した。	児童生徒に対しては、体育や保健体育の中で適切な指導を行っている。また外部講師による薬物乱用防止教室を実施しているが、全体の半数にとどまっている。	中学校においては、全校が薬物乱用防止教室を実施するよう、依頼していく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	体育や保健体育の中で適切な指導を行っている。また外部講師による薬物乱用防止教育についても、適切に行うよう依頼している。	保健体育安全課(旧:学校教育課)
96	96	「生命と性」の健康についての理解の向上	各中学校区の実情に合わせ、中学校区地域保健連絡会などにおいて、「生命と性」の健康についての理解の向上に努めます。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	中学校区地域保健連絡会を各中学校区で2回、全体研修会を1回開催した。	関係機関で情報交換、情報共有が図れた。全体研修会ではプレコンセプションケアについて講師を招き、関係機関で理解を深めることができた。	次年度も各中学校区で地域保健連絡会を2回開催、全体研修会を1回開催し、取り組みを充実させていきたい。	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	地域保健連絡会を2回開催、コロナ禍で開催を見合わせていた思春期保健講演会も開催することができた。	健康支援課



基本目標	Ⅳ心が通い合い、健康で安心して暮らせる環境づくり
課題	1 生涯にわたる健康維持への支援
施策の方向	②安心して妊娠・出産できる環境に向けた支援

No.	事業コード	事業名	事業内容	R5管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度						担当課
					令和5年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の 貢献度	令和3年度の 貢献度	令和4年度の 貢献度	中間評価	令和5年度の 貢献度	評価の理由	
97	97	切れ目ない母子健康支援	「妊娠届出」時に必ず看護職が妊婦やパートナーと面接し、その後のすべての節目の時期に妊娠・出産・子育ての状況を確認し、妊娠中から就学前まで切れ目のない母子健康支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	妊娠届出時、妊娠8か月頃、産後早期の時期に妊娠・出産・子育ての状況を確認し、妊娠中から就学まで切れ目ない伴走型の相談支援を実施した。	妊婦、乳幼児の直近の状況について、担当が不在であってもすぐに把握できるような仕組みづくりが必要。	こども家庭センターの設置に伴い、支援が必要なケースについてはより母子保健と福祉の連携強化を図る。適切な時期に支援、介入を行っていく。 支援台帳の作成により、ケースの見える化を図る。	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	妊娠届出時より全数の状況把握を行っている。	健康支援課

基本目標	Ⅳ心が通い合い、健康で安心に暮らせる環境づくり
課題	2 誰もが安心に暮らせる環境の整備
施策の方向	①男女共同参画の視点に立ったひとり親家庭に対する支援

No.	事業コード	事業名	事業内容	R5管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度						担当課
					令和5年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度 の貢献度	令和3年度 の貢献度	令和4年度 の貢献度	中間評価	令和5年度 の貢献度	評価の理由	
98	98	ひとり親家庭への相談体制の充実	関係機関との連携による情報収集により、個々のひとり親家庭の状況に応じた相談に対応します。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	ひとり親家庭に対する支援制度をまとめた「ひとり親家庭支援のしおり」を作成し、ハローワークや養育費相談支援センター等の関連機関のリーフレット等と合わせて面談や電話により案内を行った。 ハローワークと連携して自立・就労に向けた支援を行うことができた。	相談内容が多岐にわたるため、関係機関との迅速な連携・対応が求められることから、適切な指導を行うために常に最新の情報収集に努める必要がある。	ひとり親家庭の生活の安定とその向上及び福祉の増進のために、引き続き関係機関との連携により情報収集を行いながら、ひとり親家庭における家庭の相談に応じた指導・助言・支援を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	自立に向けた支援をするにあたって必要な制度の情報収集に努めるとともに、関係機関と連携をとることにより、個々のひとり親家庭の状況に応じた総合的な支援を行うことができた。	子育て支援課
99	99	ひとり親家庭の生活の安定と福祉の増進	ひとり親家庭の生活の安定に資するため手当を支給するとともに、医療費の助成により福祉の増進を図ります。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	2カ月に1回児童扶養手当受給者に対し、手当を支給した。 ・物価高騰による影響が長期化する中で、ひとり親世帯に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行う観点から、子育て世帯生活支援特別給付金を支給した。 ひとり親家庭等医療費等受給資格者に対し、保険診療分の医療費の全部又は一部を助成した。	頻回受診などの受診件数及び扶助費の増加が懸念される。	ひとり親家庭の安定と自立の促進に寄与するため、児童扶養手当法に基づき、児童扶養手当の受給資格を認定し、手当を支給する。 ひとり親家庭等医療費助成の利便性の向上を持続するため、受給券を遅滞なく発行し、受給者による頻回受診などを軽減するため市ホームページ等で周知する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	・児童扶養手当法に基づき、児童扶養手当を支給することで、ひとり親家庭等の生活の安定と自立の促進に寄与し、児童福祉の増進を図った。 ・習志野市ひとり親家庭等の医療費等の助成に関する条例に基づき、母子家庭の母子及び父子家庭の父子等の医療等を助成することで、母子及び父子家庭等の福祉の増進を図った。	子育て支援課
100	100	ひとり親家庭の自立に向けた支援	ひとり親家庭の就労による自立を促進するため、給付金の支給や関係機関との連携により支援します。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	児童扶養手当現況届提出時に出張ハローワークによる臨時窓口を子育て支援課窓口を設置し、就労相談につないだ。 雇用の安定に向けて職業技能を身につけるため、指定された教育訓練講座を修了した者に、自立支援教育訓練給付金を支給した。 6月以上のカリキュラムを修業し、対象資格の取得が見込まれる者に対し、高等職業訓練促進給付金を支給した。 ひとり親家庭自立支援プログラム策定事業を開始し、個々のニーズに対応した自立支援プログラムを策定した上で、ハローワーク等と連携し、自立に向けた支援を行った。	就業していない児童扶養手当受給者等に対し、今後もハローワークへの案内と合わせて資格取得についても案内し、就職に有利となるよう努める必要がある。 安定した就労に就くため、児童扶養手当受給者等が個々の課題や状況を把握し、計画的に資格取得や就職ができるよう支援する必要がある。	ひとり親家庭の経済的自立を促進するため、資格取得を目指す児童扶養手当受給者等に対し、安心して資格取得ができるよう経済的支援を行う。 就労支援について、月1回ハローワークの巡回相談を実施し、ひとり親の就労につなげられるよう支援を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	就労支援等の関連に関する制度等の情報収集に努め、これまで以上にハローワークとの連携を強化し、ひとり親の自立に向けて支援したことにより、就職による経済的自立を図ることができた。	子育て支援課

基本目標	Ⅳ心が通い合い、健康で安心に暮らせる環境づくり
課題	2 誰もが安心して暮らせる環境の整備
施策の方向	②男女共同参画の視点に立った高齢者、障がいのある人、外国人に対する支援

No.	事業コード	事業名	事業内容	R5管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度						担当課
					令和5年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の 貢献度	令和3年度の 貢献度	令和4年度の 貢献度	中間評価	令和5年度の 貢献度	評価の理由	
101	101-1	男女共同参画の視点に立った学習機会・情報の提供	千葉県生涯大学校の案内を行い、学習意欲のある高齢者の学習機会の場と情報を広く提供します。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	令和6年度の入学案内について市広報紙で周知をしたほか、窓口案内及び願書を配架し、希望者に配布した。	担当課窓口における配布期間中、実際に窓口に願書を受け取りに来る希望者は少ない。	市広報紙において生涯大学校の募集について掲載して情報提供を行うほか、担当課窓口において案内、願書を配布する。	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	千葉県生涯大学校より依頼を受けた広報紙への掲載及び窓口配布を行うことで、学習の場の情報提供ができた。	高齢者支援課
101	101-2	男女共同参画の視点に立った学習機会・情報の提供	高齢者対象の学習機会、千葉県生涯大学校の案内などの情報を広く提供します。また、公民館活動において、高齢者を対象とした男女共同参画の視点に立った講座を実施します。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	・60歳以上を対象とした「寿学級」を男女を問わず参加できる学習プログラムを実施した。 (参考) ・寿学級：中央29回、菊田30回以上、実花31回、袖ヶ浦36回、谷津35回、新習志野31回 ・いきいき講座：4回(新習志野)	・参加者が高齢化しており、参加者の体力に合わせ、元気に楽しく参加できるような学習内容の検討が課題。 ・男性の参加者が少なくなっている。	・引き続き実施していきたい。 ・寿学級での学習プログラムを見直し、参加者がより活動を楽しめるように企画内容を検討する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	・寿学級において、様々なテーマの学習ができた。 ・寿まつりに参加して成果を発表できた。 ・高齢者対象の寿学級及びいきいき講座を実施しすべての講座の案内を男女の区別なく発信してきた。その結果、すべての講座において男女両方の参加がみられた。	公民館
102	102	高齢者のスポーツ・レクリエーション活動における男女共同参画の促進	高齢者のスポーツ・レクリエーション活動において、男女が共同参画できる環境づくりへの支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	老人クラブ連合会で実施した各種大会等の事業について、企画から設営等全般にわたり男女問わずに会員が実施した。	事業実施の際、準備の段階で各々の役割を認識してもらい、意見調整を図ることで、よりスムーズに行う必要がある。	老人クラブ連合会役員及び会員への周知を徹底し、男女問わず事業への参加者数を呼びかける。	D:事業を実施できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	連合会との調整、各クラブに対する周知を図り、事業は無事に開催できた。	高齢者支援課
103	103	老人クラブ等の活動における男女共同参画の促進	老人クラブ等的高齢者の活動において、男女が共同参画できる環境や意識づくりへの働きかけを行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	老人クラブ連合会の役員及び各単位クラブの会長については女性も参加しており、活動についての意見をいただき、運営に反映させている。	女性会員も老人クラブ連合会の副会長、役員についており、事業運営に参加していただいているが、より一層の意見をいただくことで、よりよい運営とすることができる。	男女問わず、皆が協力して事業を実施している。役員改選時には、女性会員に参加を呼びかける。	D:事業を実施できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	老人クラブ連合会の会議において、男性、女性の各役員から様々な意見を伺い、運営、事業等に反映できた。	高齢者支援課
104	104	障がいのある人の社会参加と就労支援の充実	男女を問わず障がいのある人の社会参加の促進や就労希望者に対する支援体制の充実を図ります。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	・習志野市障がい者地域共生協議会の就労支援部会を9回実施。その中で、障がい者雇用をしている企業の施設見学会(1回)、さらに市内就労支援事業所を対象とした意見交換会(1回)を開催。 ・習志野商工会議所の総会において、市内企業向けに、就労に係る職場実習への協力依頼を行った。	障がいのある人の更なる社会参加や就労支援の促進	今後も同協議会の雇用促進部会において、障がいのある人の就労支援等について議論していく。障がいに対する理解を深め、中小企業における障がい者雇用を促進することを目標に企業向けと就労系サービス事業所向け双方のパンフレットを作成していく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	習志野市障がい者地域共生協議会の雇用促進部会を年9回(うち2回は市内就労支援事業所を対象とした意見交換会、障がい者雇用をしている企業の施設見学)開催し、障がいのある人の就労支援に対する具体的な取り組みについて協議した。	障がい福祉課
105	105	障がいのある人の相談	障がい者地域共生協議会の活動や障がいのある人の相談支援体制の充実を図ります。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	・習志野市障がい者地域共生協議会の相談支援部会を9回実施。「地域生活支援拠点」と「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」について継続した協議や取り組みを行った。	地域生活支援拠点の事業所登録促進。	地域生活支援拠点の事業所登録推進と緊急時対応の連携促進。65歳移行会議の継続した実施とフローチャートの周知。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	相談支援体制として課題となっている65歳の制度移行に関して、移行支援会議の実施とフローチャートの作成を行った。	障がい福祉課
106	106	障がいのある人のスポーツ・レクリエーション活動の充実	男女問わず参加できる障がい者スポーツ大会の実施やレクリエーション活動の充実を図ります。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	ユニバーサルスポーツ交流会を開催	参加人数が少なかった。	障がいのある人もない人もより多くの方に参加してもらうことで交流の場を広げる。	A:貢献できた	D:事業を実施できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	様々な障がいのある参加者がスポーツを通じて交流を楽しめるよう検討し、実施することができた。	障がい福祉課

基本目標	Ⅳ心が通い合い、健康で安心に暮らせる環境づくり
課題	2 誰もが安心して暮らせる環境の整備
施策の方向	②男女共同参画の視点に立った高齢者、障がいのある人、外国人に対する支援

No.	事業コード	事業名	事業内容	R5管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度						担当課
					令和5年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度 の貢献度	令和3年度 の貢献度	令和4年度 の貢献度	中間評価	令和5年度 の貢献度	評価の理由	
107	107	【新規】 多文化への理解促進	国際交流協会を中心に、姉妹都市との交流など、国際交流により、多文化への理解を深め、相互理解の促進を図ります。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	市国際交流協会に対し補助金交付及び市庁舎分室の会議室の提供を行い、協会の活動を支援した。 協会では、市民まつりや市内学校において青少年交流事業等のPR活動を行い、多文化への理解を深めた。また、通訳支援事業において、ウクライナ避難民のための通訳として行政手続きに協力した。 その他、SDGsカードゲーム「ゲットザポイント」を市内小学校や市内団体に向け実施し、持続可能な社会についての学びを提供するとともに、姉妹都市交流について情報を発信した。	令和6年度に実施する青少年交流事業は6年ぶりの再開となる。市職員のみならず、タスカルーサ市からの青少年訪問団を受け入れる各高校においても事業経験者がほばいない状況について、平成30年度実施の内容を参考に、市国際交流協会ははじめ関係団体と情報を共有し、有意義な交流となるよう計画・調整を進める必要がある。	(受入予定) 5月28日～6月10日 (派遣予定) 7月20日～8月2日  引き続き市国際交流協会、タスカルーサ市担当及び市内学校と連携する。 受入時の市長等との対面式やフェアウェルパーティーの実施に向け、市国際交流協会と協力しながら準備を進める。	A: 貢献できた	A: 貢献できた	A: 貢献できた	A: 貢献できた	A: 貢献できた	市国際交流協会への補助金交付をとおし、協会の活動PRに貢献できた。また、協会の活動拠点である事務局にかかる場所を提供し、円滑な活動に貢献した。	協働政策課
108	108	【新規】 外国人向けの日本語教室の開催	外国人が安心して日常生活、社会生活を送れるよう、国際交流協会で実施する日本語教室を支援します。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	市国際交流協会への補助金の交付と市庁舎分室の会議室の提供などを通じ、日本語教室の実施に係る財政的支援を行った。	日本語教室は、従来型の対面学習及びコロナ禍より開始したオンライン学習の2つを採用しているが、対面学習を選択する人の方が多く、ある程度広い会場を確保することや会場の固定化など、学習者にとって快適な環境を提供できるよう引き続き支援が求められる。	習志野市国際交流協会運営費補助金を通じた財政的支援及び学習会場の確保、日本語教室のPRを行う。	A: 貢献できた	A: 貢献できた	A: 貢献できた	A: 貢献できた	A: 貢献できた	市国際交流協会への補助金交付を通しての活動援助及び会場確保により会員への安定した学習機会を提供することができた。	協働政策課

基本目標	V 将来像の実現に向けた推進体制づくり
課題	1 市民と行政による連携の強化
施策の方向	① 男女共同参画センターを中心とした市民協働の推進

No.	事業コード	事業名	事業内容	R5管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度						担当課
					令和5年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度 の貢献度	令和3年度 の貢献度	令和4年度 の貢献度	中間評価	令和5年度 の貢献度	評価の理由	
109	109	男女共同参画推進登録団体連絡会の開催と連携・協働	男女共同参画推進登録連絡会を開催し、団体との情報交換を図るとともに、各団体の活動報告や研修会を通して、団体間の連携を図ります。	【管理指標項目】 男女共同参画推進登録団体連絡会および研修会等の開催回数  【目標値】 年2回  【5年度実績】 年2回	令和5年11月に団体連絡会議を開催。団体との情報交換を図った。また、研修会の一環として団体が「性の多様性に関する啓発講座」に参加し、性の多様性への理解を深めた。	団体連絡会議の場にて、団体の活動をPRする場を提供してほしいとの意見があがったことから、団体活動の推進に向けて検討する必要がある。	団体活動をPRする場の提供を行う。	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	S:大いに貢献できた	団体連絡会議及び研修会を開催し、団体との情報交換を行った。会議の場であがった意見に対して、現在具体的に検討を行っている。	多様性社会推進課(旧:男女共同参画センター)
110	110	男女共同参画推進登録団体などとの協働によるイベントの実施	男女共同参画推進登録団体や情報紙「きらきら」の編集委員などと男女共同参画の啓発、推進を図るため、市民との協働によるイベント、講座などを実施します。また、登録団体主催事業を積極的に支援します。	【管理指標項目】  【目標値】  【5年度実績】	・令和5年度男女共同参画週間事業講演会を開催。実施にあたり、運営委員会を開催(4回)。 ・令和6年度男女共同参画週間事業の運営委員会を開催した。(4回) ・情報紙「きらきら」の編集委員と協働で年2回情報紙を発行した。 ・令和5年11月に行われた「女性に対する暴力をなくす運動」パネル展示では、男女共同参画推進団体と協働で行った。	引き続き機会をとらえて市民・登録団体との連携を図る必要がある。	男女共同参画週間事業運営委員会を立ち上げ、事業実施に向けて検討を進めている。 引き続き情報紙「きらきら」の発行を市民と協働で行う。 また、団体活動の支援に取り組む。	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	情報紙「きらきら」及び男女共同参画週間事業を市民と協働で実施することができた。	多様性社会推進課(旧:男女共同参画センター)
111	111	市民参画による情報紙の企画・編集	市民編集委員と協働で、男女共同参画社会づくり情報紙「きらきら」の企画・編集を行います。	【管理指標項目】  【目標値】  【5年度実績】	情報紙「きらきら」は、市民公募の編集委員4名とりモートを活用しながら、11回の会議を開催した。 令和5年9月(第56号)発行 令和6年2月(第57号)発行	編集における工夫や、情報共有を行い、紙面づくりを行う必要がある。 編集委員と連携を図り、委員募集や取材先の検討を行っていく必要がある。	情報紙「きらきら」の発行に向けて、市民と協働で企画・編集を進めている。	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	市民と協働で、家庭における男女共同参画及び多様な働き方など、様々なテーマを特集し年2回発行することができた。	多様性社会推進課(旧:男女共同参画センター)

基本目標	V 将来像の実現に向けた推進体制づくり
課題	2 計画推進体制の強化
施策の方向	① 習志野市男女共同参画審議会の充実

No.	事業コード	事業名	事業内容	R5管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度						担当課
					令和5年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度 の貢献度	令和3年度 の貢献度	令和4年度 の貢献度	中間評価	令和5年度 の貢献度	評価の理由	
112	112	男女共同参画審議会と事業担当課との連携	男女共同参画審議会や同審議会が設置する部会の意見に基づき、計画の事業担当課などとの対話の機会を調整します。	【管理指標項目】 男女共同参画審議会と事業担当課との対話の実施回数  【目標値】 年1回  【5年度実績】 年1回	令和5年7月・8月に事業評価部会を設置し、審議会と事業担当課との対話を実施した。	令和2年度から今年度までは重点施策をテーマとして実施してきたが、次年度以降事業担当課との対話テーマについて検討する必要がある。	引き続き審議会と事業担当課との対話の機会を調整する。	D:事業を実施できなかった	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	事業評価部会を設置し、対話を通して、現状把握、今後の見通し等を図ることができた。	多様性社会推進課(旧:男女共同参画センター)

基本目標	V 将来像の実現に向けた推進体制づくり
課題	2 計画推進体制の強化
施策の方向	② 庁内の連携と推進体制の強化

No.	事業コード	事業名	事業内容	R5管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度					担当課	
					令和5年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	令和5年度の貢献度		評価の理由
113	113	事業担当課の取り組みに対する相談支援、助言	市が実施する取り組みの中に男女共同参画の理念を反映させるため、本計画の取り組みを実践する事業担当課への情報提供に努め、積極的に相談支援および助言などを行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	第3次男女共同参画基本計画の令和4年度の取り組みについて、評価が低かった担当課へのヒアリングを行った。 産業振興課が各種表彰制度の周知のための市ホームページを作成した際に男女共同参画センターの同制度のリンクを貼り付けてもらうなどして情報の共有を図った。	引き続き担当課の事業の取り組み状況について確認をし、積極的な相談支援及び情報提供を行う必要がある。	事業の取組状況を確認し、積極的な相談支援及び情報提供を行う。	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	事業担当課への情報提供を通じて、各種表彰制度について、広く周知を図ることができた。	多様性社会推進課(旧:男女共同参画センター)
114	114	男女共同参画施策庁内推進会議の充実	男女共同参画審議会などとの対話の機会を有効に活用しながら、柔軟にかつ迅速な視点にたち、庁内における男女共同参画の取り組みを推進します。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	男女共同参画施策庁内推進会議を1回実施。 (令和5年11月)	活発な意見交換ができるよう庁内推進会議のあり方を検討する必要がある。	会議構成員の見直しを図るなど、より活発な意見交換を行える場を整え、全庁で男女共同参画施策を推進・加速させる機会とする。	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	庁内推進会議を実施し、第3次男女共同参画基本計画の令和4年度評価について共有した。また、事業評価部会にて議題としてあがった「人材リスト」について、会議の場で再度周知を図った。	多様性社会推進課(旧:男女共同参画センター)
115	115	庁内プロジェクト等の強化	男女共同参画施策庁内担当者会議をはじめ、市民、関係機関などとの連携を図り、多様な意見を交えながら、取り組みの充実、強化を図ります。	【管理指標項目】 【目標値】 【5年度実績】	実施できなかった。	多様な課題に対して、迅速かつ具体的に連携を図っていく必要があり、活発な意見交換ができるよう会議のあり方について検討する必要がある。	迅速かつ具体的な連携を図るため、担当者会議に代わり男女共同参画施策庁内推進会議にて協議することを検討する。 また、事業担当課に対してはヒアリングを強化するほか、研究会の立ち上げなどを検討し、連携の強化を図る。	D:事業を実施できなかった	B:あまり貢献できなかった	D:事業を実施できなかった	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	男女共同参画施策庁内担当者会議を開催することができなかった。	多様性社会推進課(旧:男女共同参画センター)

基本目標	V 将来像の実現に向けた推進体制づくり
課題	2 計画推進体制の強化
施策の方向	③国・他の地方公共団体・公共的団体との連携強化

No.	事業コード	事業名	事業内容	R5管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度						担当課
					令和5年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次年度における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	令和5年度の貢献度	評価の理由	
116	116	国・他の地方公共団体・公共的団体との連携・協力体制の充実	国・他の地方公共団体・公共的団体との連携を密にし、協力して課題解決に取り組めます。	【管理指標項目】  【目標値】  【5年度実績】	【関係会議への出席】 令和5年5月16日 男女共同参画センター等連絡会議 令和5年11月14日 千葉男女共同参画行政担当者連絡会議(オンライン開催) 令和5年11月20日 DV被害者支援連絡会議 令和6年3月12日 習志野健康福祉センター・中核地域生活支援センター習志野圏域連絡調整会議 その他、千葉県地域推進員会議への参加	関係機関との連携機会が増えてきているため、積極的に情報収集を行うなどして、関係機関との連携を図る必要がある。	引き続き関係会議に出席し、国や県の情報収集に努め、近隣自治体の取り組みについて情報交換を行い、連携を図る。	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	会議に積極的に参加する機会を持てたため	多様性社会推進課(旧:男女共同参画センター)